

長野市  
アンケート調査報告書  
当事者（子ども）

集計報告書

平成 27 年 9 月  
長野市



## 目次

調査概要 .....	1
調査の目的.....	3
調査の概要.....	3
この報告書の見方.....	3
当事者（子ども）調査結果.....	5
～ 保護者の皆さんへ（障害等のあるお子さんのことについて） ～ .....	6
～ 生活の状況について ～ .....	16
～ 身の回りのことについて ～ .....	22
～ 情報収集について ～ .....	25
～ 相談ごとについて ～ .....	28
～ お子さんの外出について ～ .....	30
～ 今後の生活について ～ .....	32
～ 地域とのかかわりについて ～ .....	33
～ お子さんの将来の就労について ～ .....	38
～ 長野市の施策について ～ .....	40
～ 権利擁護について ～ .....	44



# 調査概要

---



## 調査の目的

長野市では現在、障害のある人の生活のさらなる向上をめざし、平成 23 年度に策定した「長野市障害者基本計画」（10 ヶ年計画）の中間見直しを進めています。本アンケート調査は、計画を策定するうえでの基礎資料として活用するため、住民の方の意識・意見を把握することを目的に実施したものです。

## 調査の概要

- 調査対象：  
当事者アンケート：3,500 人（無作為抽出）  
\* 障害者手帳、障害福祉サービス及び自立支援医療受給者証をお持ちの方  
一般アンケート：市民 1,000 人（無作為抽出）
- 調査期間：2015 年 6 月 25 日から 7 月 5 日
- 調査方法：郵送配布・郵送収集

- 配布・回収状況：

	配布数	回収数	回収率
当事者	3250 票	2068 票	63.6%
当事者（子ども）	250 票	171 票	68.4%
一般	1000 票	575 票	57.5%
障害者団体	11 票	7 票	63.6%
事業所	60 票	38 票	63.3%

## この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100% として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100% にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100% を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 一部のグラフでは 5 以下の数値を表示していません。



## 当事者（子ども）調査結果

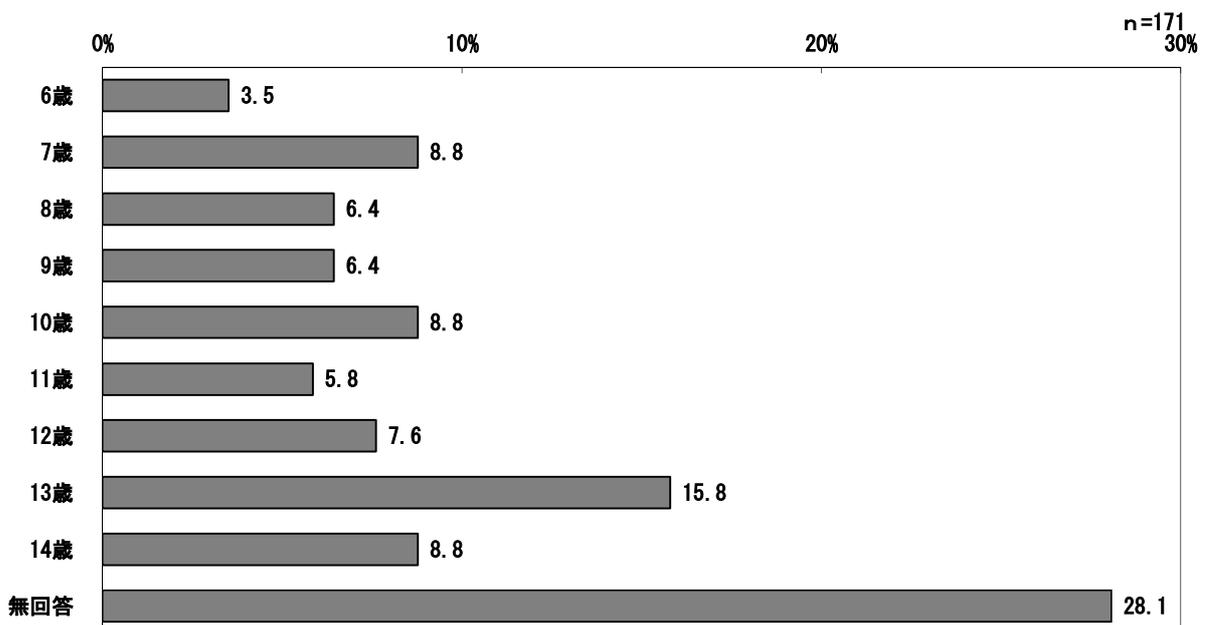
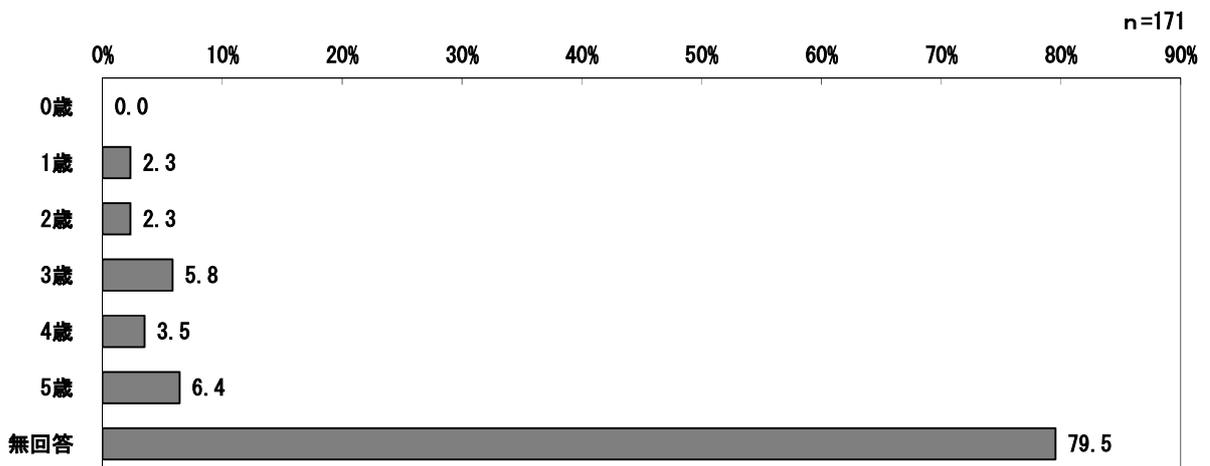
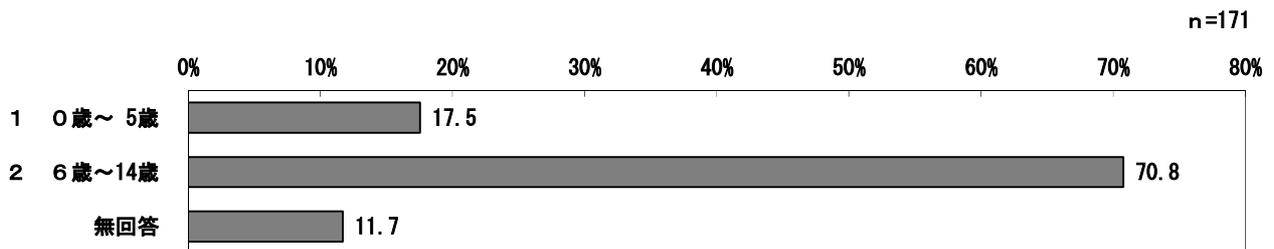
～ 保護者の皆さんへ（障害等のあるお子さんのことについて） ～

問1 お子さんの年齢は。（平成 27 年 4 月 1 日現在）

「1 0歳～5歳」が17.5%、「2 6歳～14歳」が70.8%となっています。

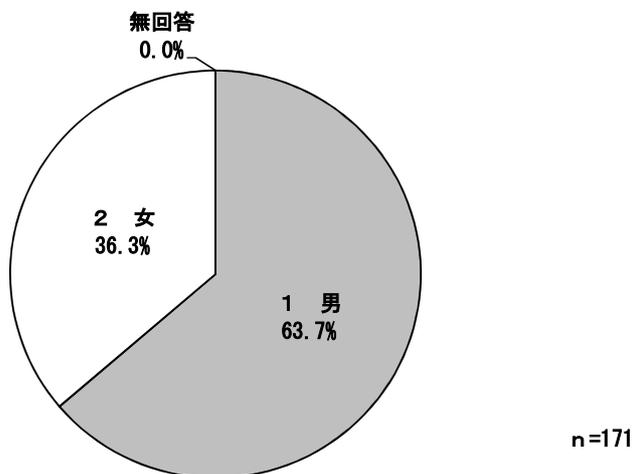
1. 0歳～5歳では「5歳」が6.4%で最も多く、次いで「3歳」が5.8%、「4歳」が3.5%、「1歳」が2.3%、「2歳」が2.3%となっています。

2. 6歳～14歳では「13歳」が15.8%で最も多く、次いで「7歳」が8.8%、「10歳」が8.8%、「14歳」が8.8%、「12歳」が7.6%となっています。



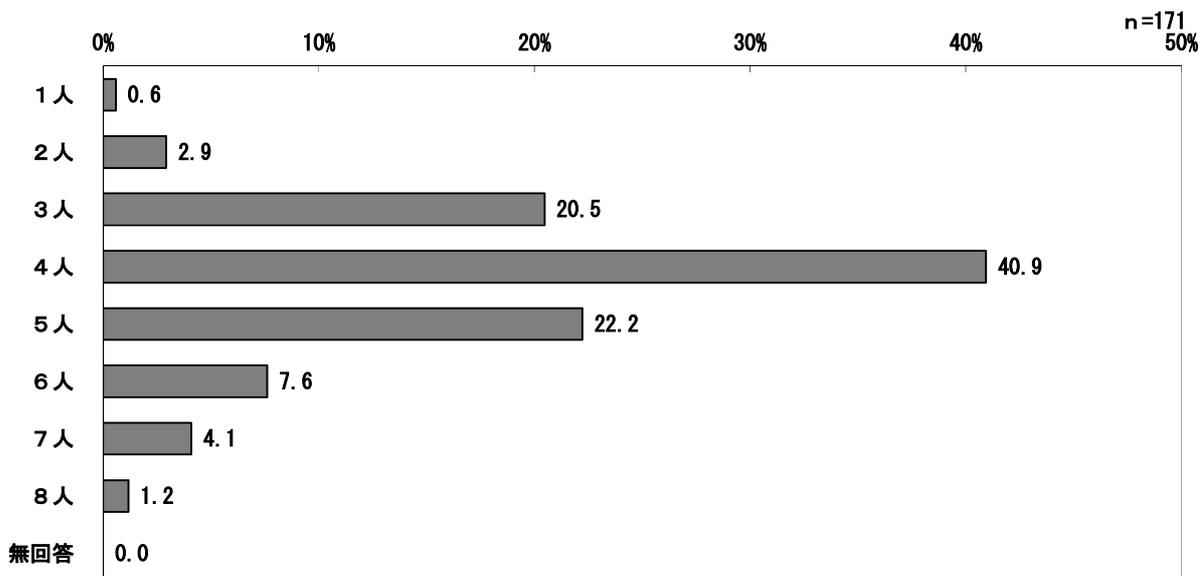
問2 お子さんの性別は。

「1 男」が 63.7%、「2 女」が 36.3%となっています。



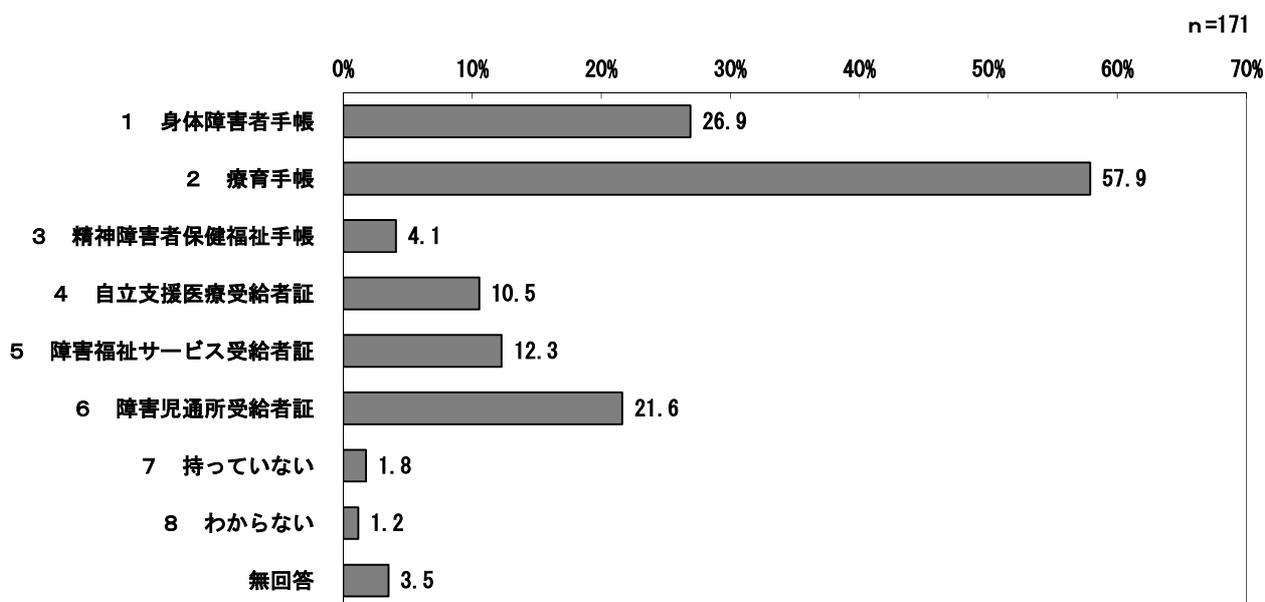
問3 お子さんを含めて、お子さんが一緒に住んでいる家族の人数は何人ですか。

「4人」が 40.9%で最も多く、次いで「5人」が 22.2%、「3人」が 20.5%、「6人」が 7.6%、「7人」が 4.1%となっています。

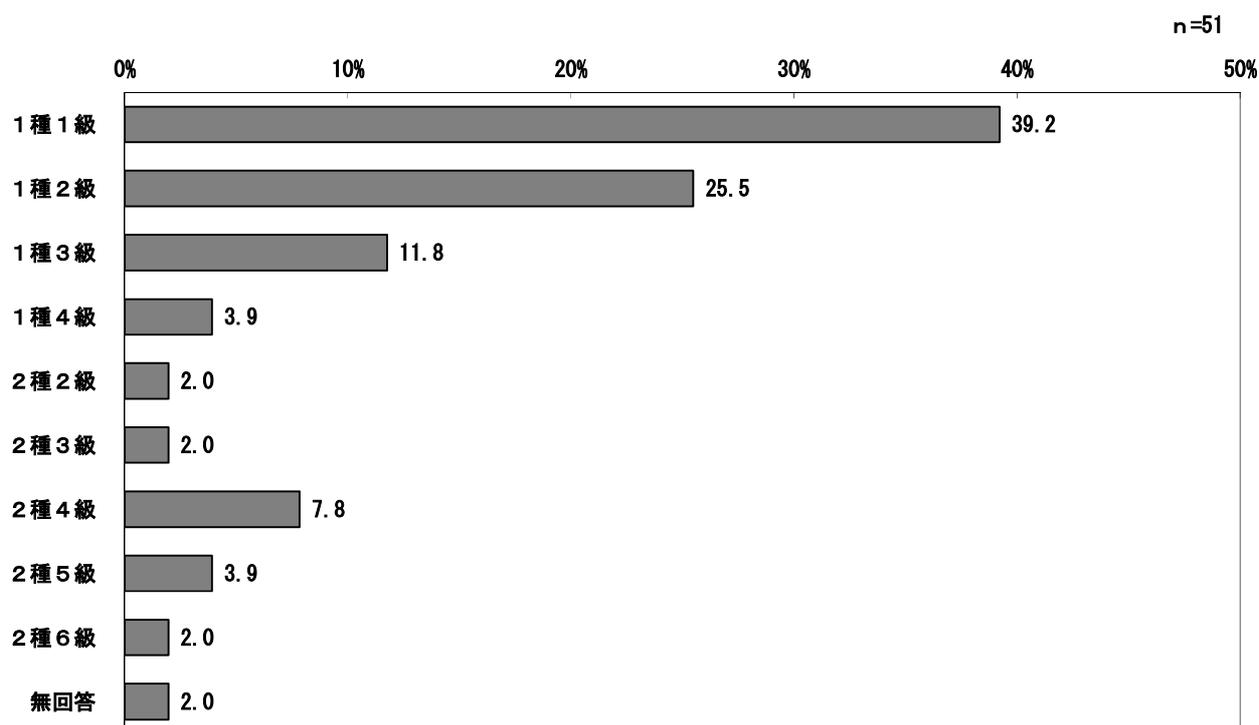


問4 お子さんは次の手帳または受給者証をお持ちですか。

「2 療育手帳」が57.9%で最も多く、次いで「1 身体障害者手帳」が29.8%、「6 障害児通所受給者証」が21.6%、「5 障害福祉サービス受給者証」が12.3%、「4 自立支援医療受給者証」が10.5%となっています。

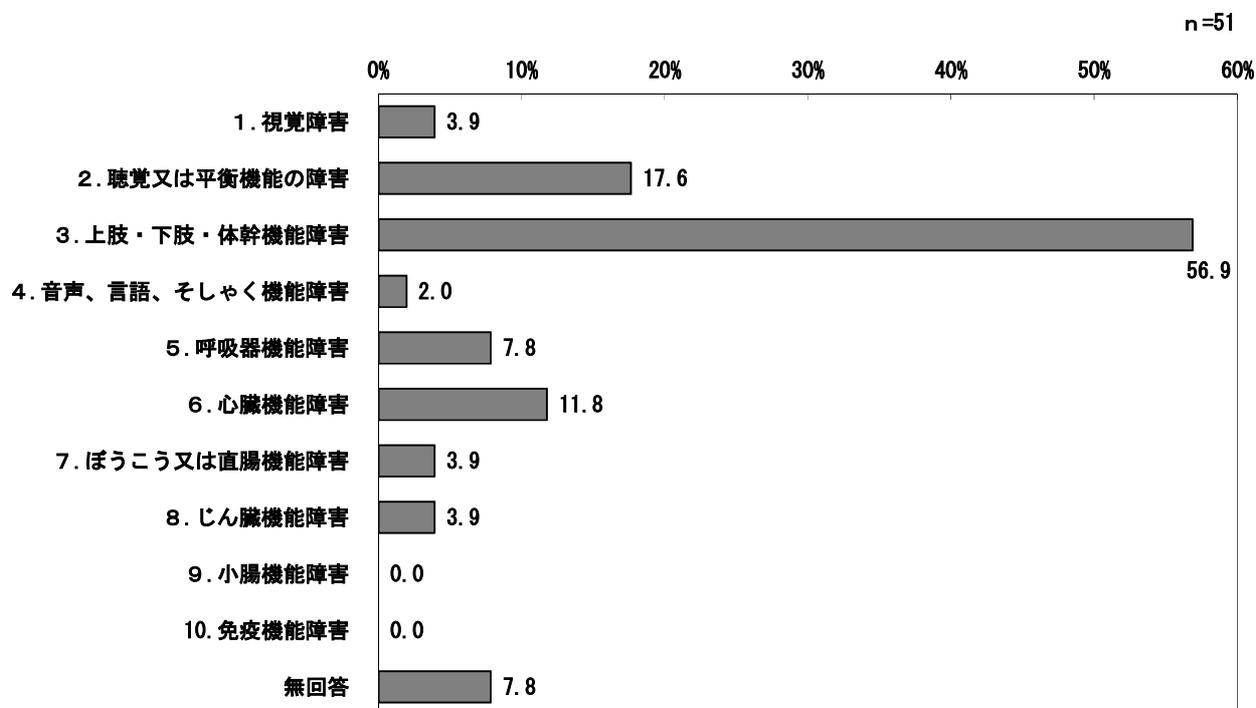


①種別・等級

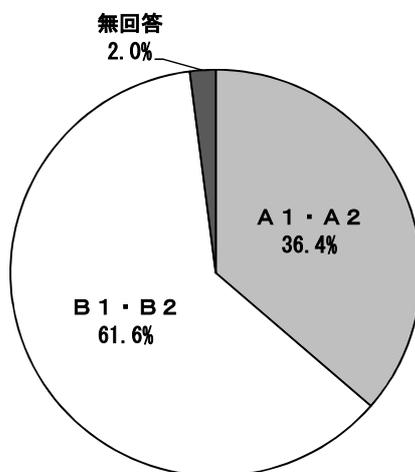


②障害の種別

「3. 上肢・下肢・体幹機能障害」が 56.9%で最も多く、次いで「2. 聴覚又は平衡機能の障害」が 17.6%、「6. 心臓機能障害」が 11.8%、「5. 呼吸器機能障害」が 7.8%、「1. 視覚障害」が 3.9% となっています。

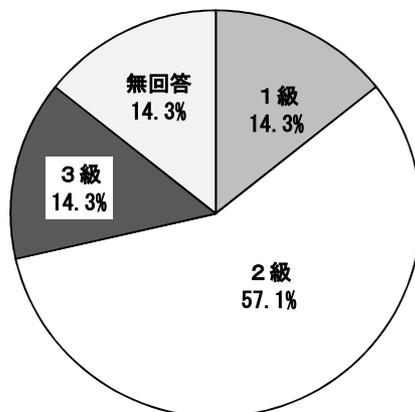


2-療育手帳 判定



n=99

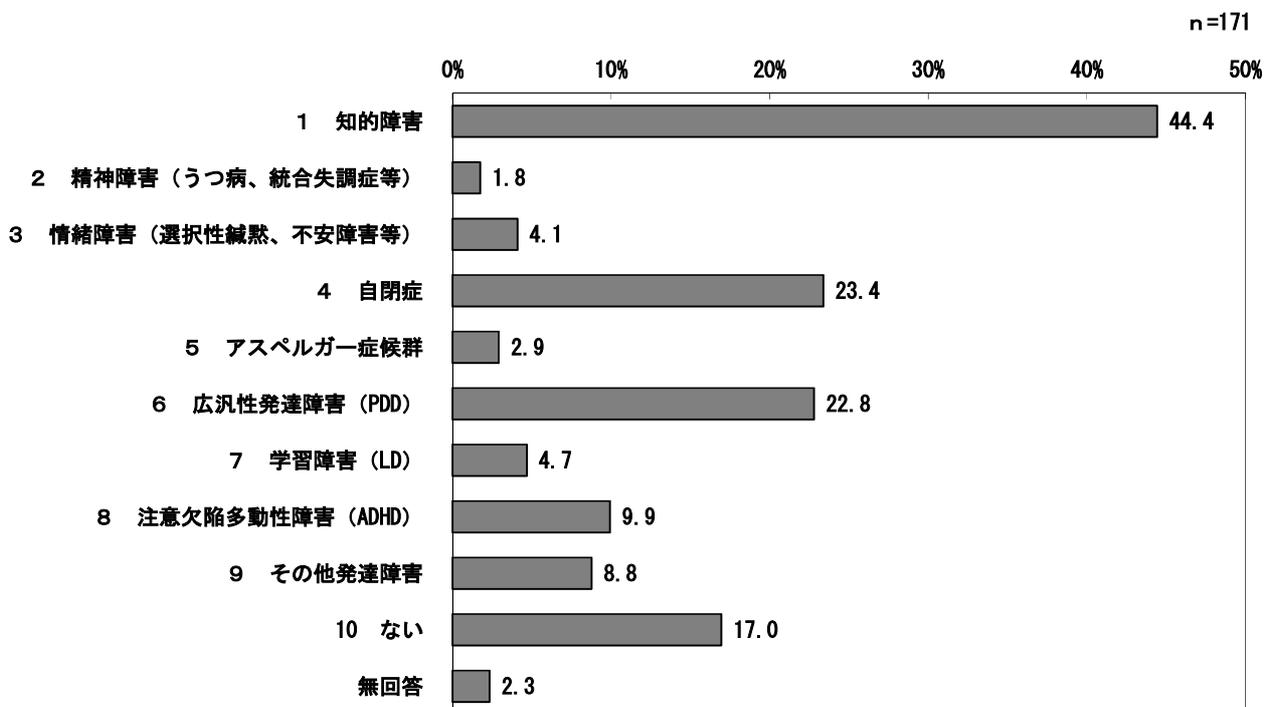
3-精神障害者福祉手帳 等級



n=7

問5 お子さんは、以下の事柄について医師の診断（疑い含む）を受けていますか。

「1 知的障害」が44.4%で最も多く、次いで「4 自閉症」が23.4%、「6 広汎性発達障害(PDD)」が22.8%、「10 ない」が17.0%、「8 注意欠陥多動性障害(ADHD)」が9.9%となっています。



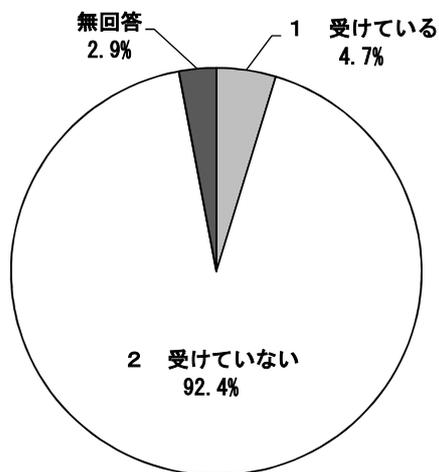
n=171

●主な「その他発達障害」記入: ダウン症/ピエールロバン症候群/自閉症スペクトラム障害/心身発達遅滞/発達性協調運動障害/など

問6 お子さんは難病の認定を受けていますか。

※難病とは、関節リウマチや脊髄性筋萎縮症などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

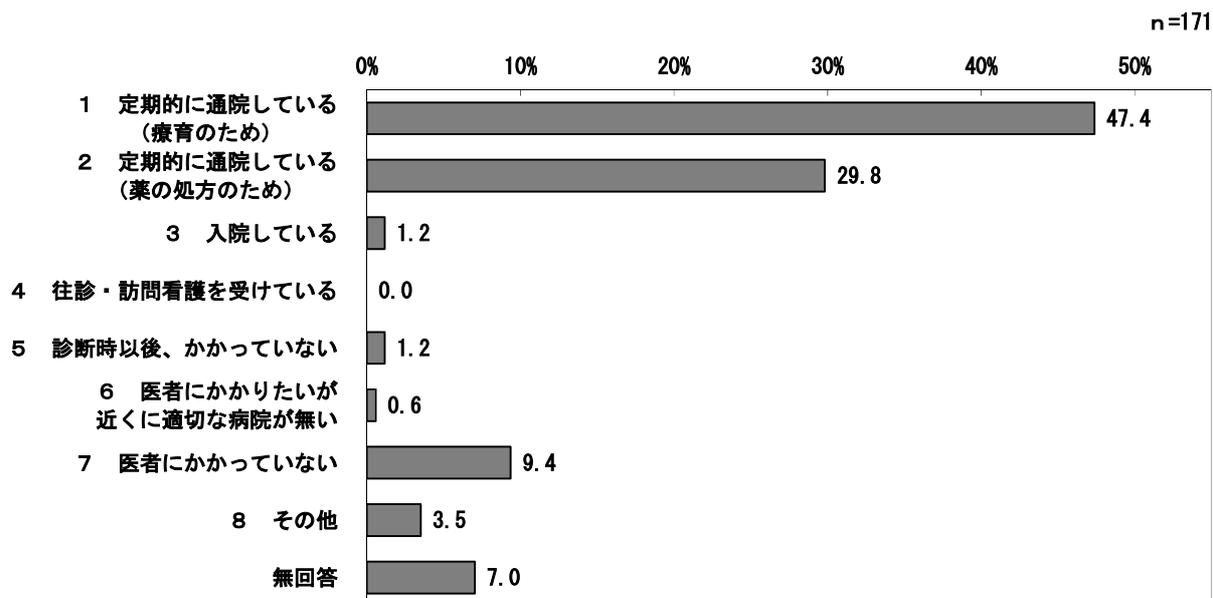
「1 受けている」が4.7%、「2 受けていない」が92.4%となっています。



n=171

問7 お子さんは現在、医療機関等にかかっていますか。

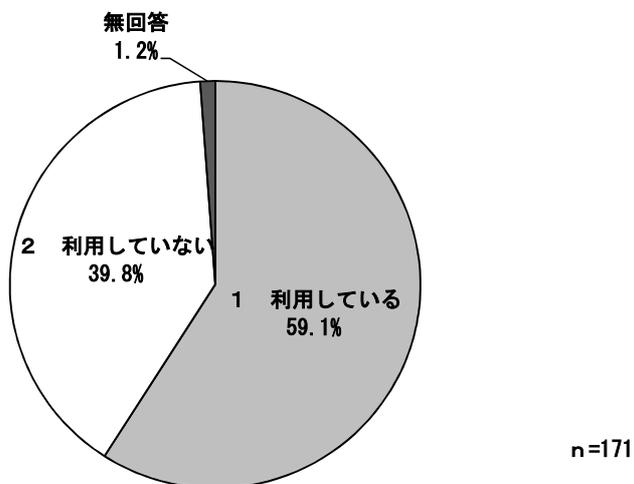
「1 定期的に通院している（療育のため）」が47.4%で最も多く、次いで「2 定期的に通院している（薬の処方のため）」が29.8%、「7 医者にかかっていない」が9.4%、「8 その他」が3.5%、「3 入院している」及び「5 診断時以後、かかっていない」が1.2%となっています。



●主な「その他」記入：指定障害児入所施設に入所中／数ヶ月毎にこども病院で検診／半年に1度の経過観察のみ／小6までは年1回小児科へ行っていた／など

問8 お子さんは現在、福祉サービスを利用していますか。

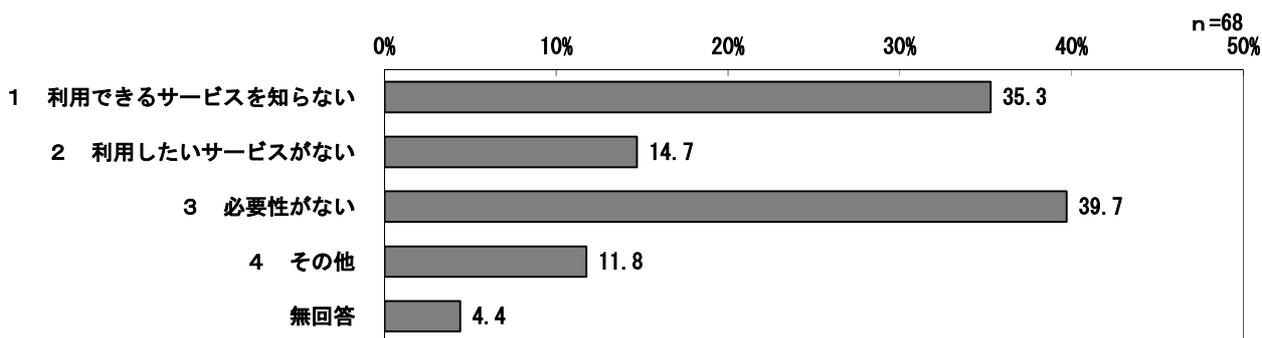
「1 利用している」が59.1%、「2 利用していない」が39.8%となっています。



(問8で2を選んだ方に)

問8-1 利用していない理由は何ですか。

「3 必要がない」が39.7%で最も多く、次いで「1 利用できるサービスを知らない」が35.3%、「2 利用したいサービスがない」が14.7%、「4 その他」が11.8%となっています。

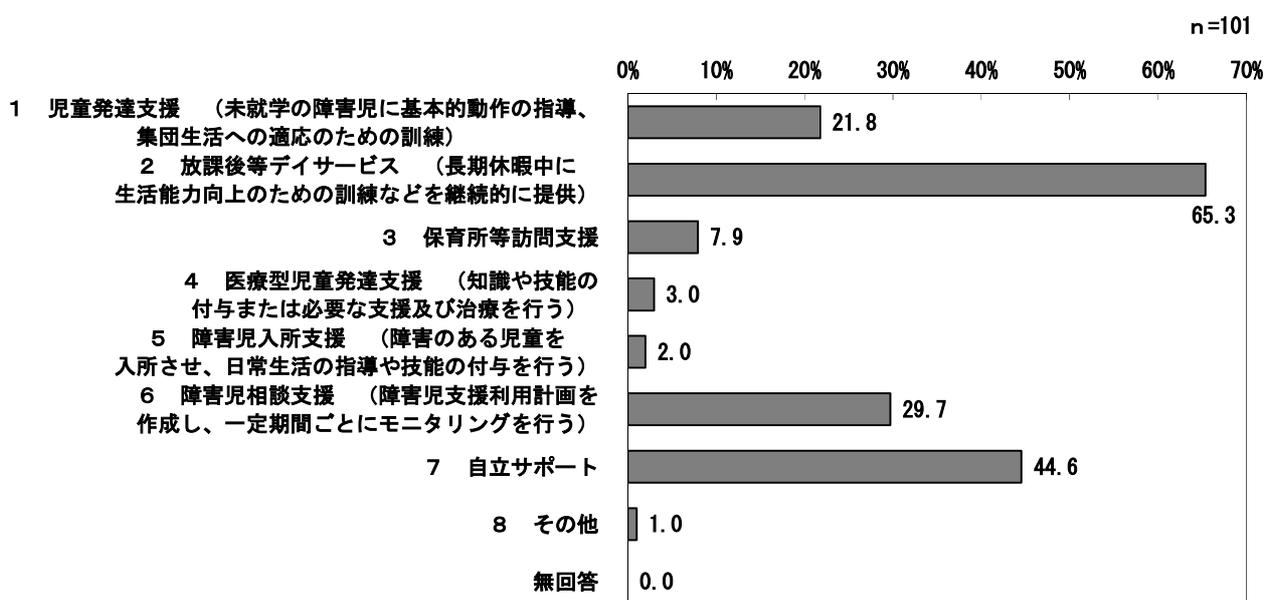


●主な「その他」記入: 利用したいが、自分達が必要な事柄に該当する物がない/退院予定があり通園を希望するが、空きがない/現在利用を検討中のため/受入不可(受入人数が満員との事)/中学入学以来本人の余力がなく通えない/など

(問8で1を選んだ方に)

問8-2 利用しているサービスを選んでください。

「2 放課後等デイサービス (長期休暇中に生活能力向上のための訓練などを継続的に提供)」が65.3%で最も多く、次いで「7 自立サポート」が44.6%、「6 障害児相談支援 (障害児支援利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う)」が29.7%、「1 児童発達支援 (未就学の障害児に基本的動作の指導、集団生活への適応のための訓練)」が21.8%、「3 保育所等訪問支援」が7.9%となっています。



●主な「その他」記入:週1回盲学校へ通級(学習指導)

問9 現在、福祉サービスで困っていることや悩んでいることがありますか。

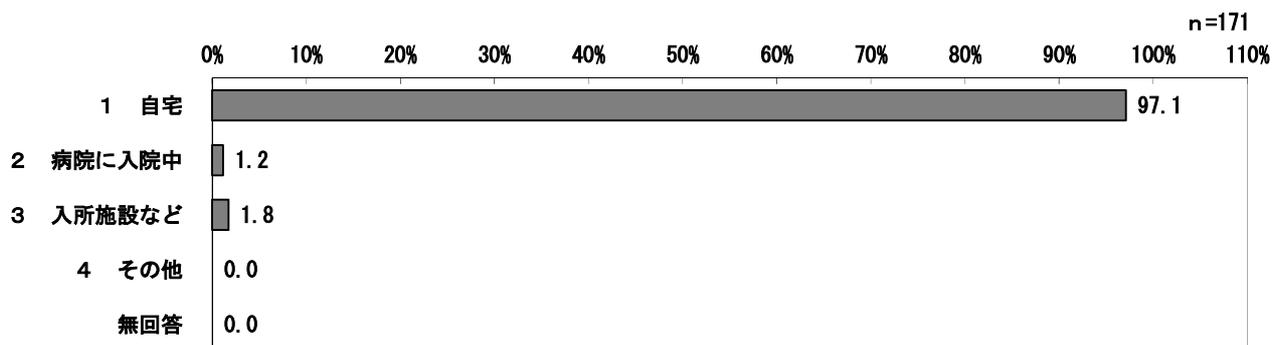
	件数	主な意見
1 障害児への理解、相談体制、情報提供の促進	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスに何があるのかがわからない。</li> <li>・どこにいけば福祉サービスを利用できるのかがわからない。</li> <li>・手続きが複雑でわかりにくい。</li> <li>・発達支援の園の空き状況等の情報があまりなくて困った。</li> </ul>
2 福祉サービスの促進	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障害と精神障害で利用できるサービスに差がある。</li> <li>・学校が長期休暇を含む休みの時、見ていてくれる人がいない。そのため、仕事を休まなければならない。</li> <li>・日々の活動の場全体を通して見ていただける、常駐の方がいればよい。</li> <li>・小児の摂食、嚥下を見て下さる言語聴覚士さんもぜひ必要。</li> <li>・子供に合ったサービスがない。</li> </ul>
3 障害児への教育環境、就労支援について	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供のいいなりになって、何でもゆるしてしまうので、不安になることがある。大人として教育的立場で接していただく場面も必要と感ずることがある。</li> <li>・障がい児が将来生きていく上で必要な技能を習得することは、親として何よりも必要と考えているが、養護学校の実際の教育を含め、全く身につけてやることができている現実には、親としてやり場のない無力感を感じている。日常的に体を動かせる“場所”や“支援者”が周りにいない。</li> </ul>
4 保護者の経済、就労について	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用が高額である。</li> <li>・一つの施設では足りず、2つ3つと利用せざるを得なくなり、その都度支払いが増える。</li> <li>・地域の学童(児童センター)が3年までしか使えない。4年になったら仕事を続けられるか不安。</li> <li>・移動支援で学校の送迎が使えないので10時～2時までしか働けません(学童へは自分で送っていきます)。</li> <li>・新たに仕事を探す際に療育施設の預かり時間が限られているので、仕事探しに限られている事が悩みです。</li> </ul>

	件数	主な意見
5 医療について	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害の診断をしっかりとできる医療機関が無いように感じます。放課後デイサービスを利用するため、ある小児科を受診したら1度の面談で「とりあえず自閉症でいいですか？」と医師に言われました(子供は、特に自閉傾向にはありません。ちょっといいかげんだなと感じました)。</li> <li>・通園通所において医ケアの必要な子供の預かりは看護師がいる間のみであり、時間が短い。働く親が使うには不便。送迎もなく親の負担が多い。放課後デイなのに医ケアの子はNsの関係で3時までになってしまう。自立サポートも、吸引など時間が定まらない医ケアのある子は実質見てもらえないので使えない。使えるようにしてほしい。訪問歯科診療をお願いしたく歯科医師会に相談したら、子供は無理と断られましたが…どうしたら良いのでしょうか？</li> </ul>
6 移動サービスについて	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活を維持する為の、移送サービスがない。親にも生計を維持する為の仕事があり、送りむかえに時間がとられすぎる。</li> </ul>
7 施設利用、サービスについて	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリを同じ場所で週2回受けられるようにしてほしい。</li> <li>・一時的に障がい児をあずけられる場所がない。</li> <li>・長期休みの預け先が確保できない。</li> <li>・施設に空きがない。</li> <li>・事業所が少ない。</li> <li>・放課後等デイ、自立サポートと等預かってくれる施設が少なすぎる。</li> <li>・桃の郷の建物前は、職員の自家用車で占領されており(常に)、しかも間口が狭い。果たしてこの施設として、利用者を迎え入れる体勢が整っていないように思われる。一体、当該建物の南側は誰が停めるスペースなのか、考え直してほしい(※障害福祉課・桃の郷職員全員で)。砂利の駐車場に停めるか、他に確保してほしい。</li> </ul>
合計	83	

## ～ 生活の状況について ～

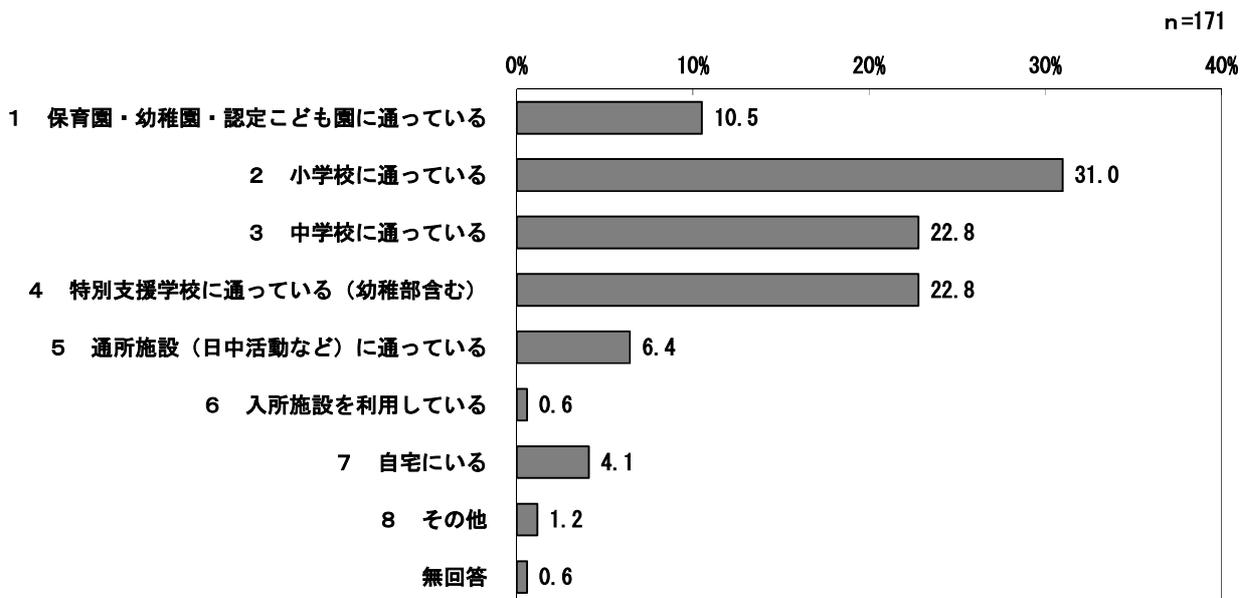
問 10 お子さんの現在の生活の場所(寝起きをしている場所)はどこですか。

「1 自宅」が 97.1%で最も多く、次いで「3 入所施設など」が 1.8%、「2 病院に入院中」が 1.2%となっています。



問 11 お子さんの現在の日中の主な活動状況についてお聞きします。

「2 小学校に通っている」が 31.0%で最も多く、次いで「3 中学校に通っている」及び「4 特別支援学校に通っている (幼稚部含む)」が 22.8%、「1 保育園・幼稚園・認定こども園に通っている」が 10.5%、「5 通所施設 (日中活動など)に通っている」が 6.4%となっています。

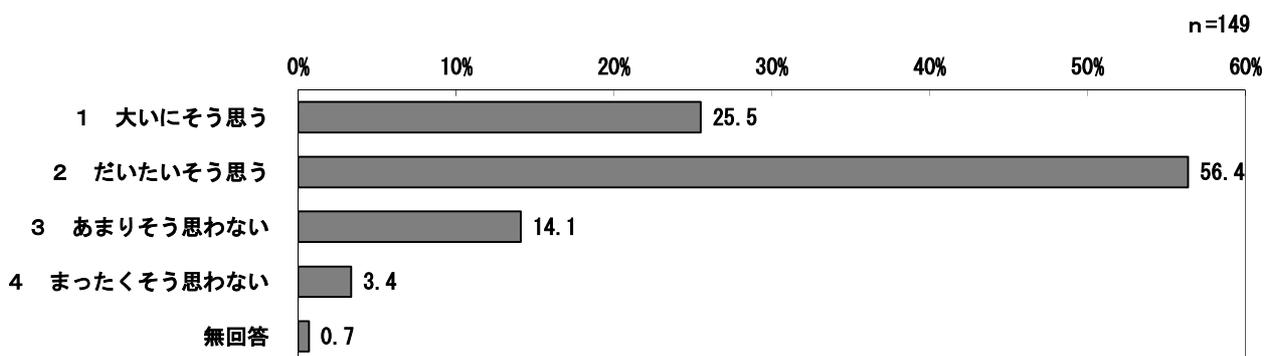


●主な「その他」記入:入院中は病院でリハビリと家族の面会。帰ってくれば主に自宅/入院している/など

(問 11 で 1～4 を選んだ方に)

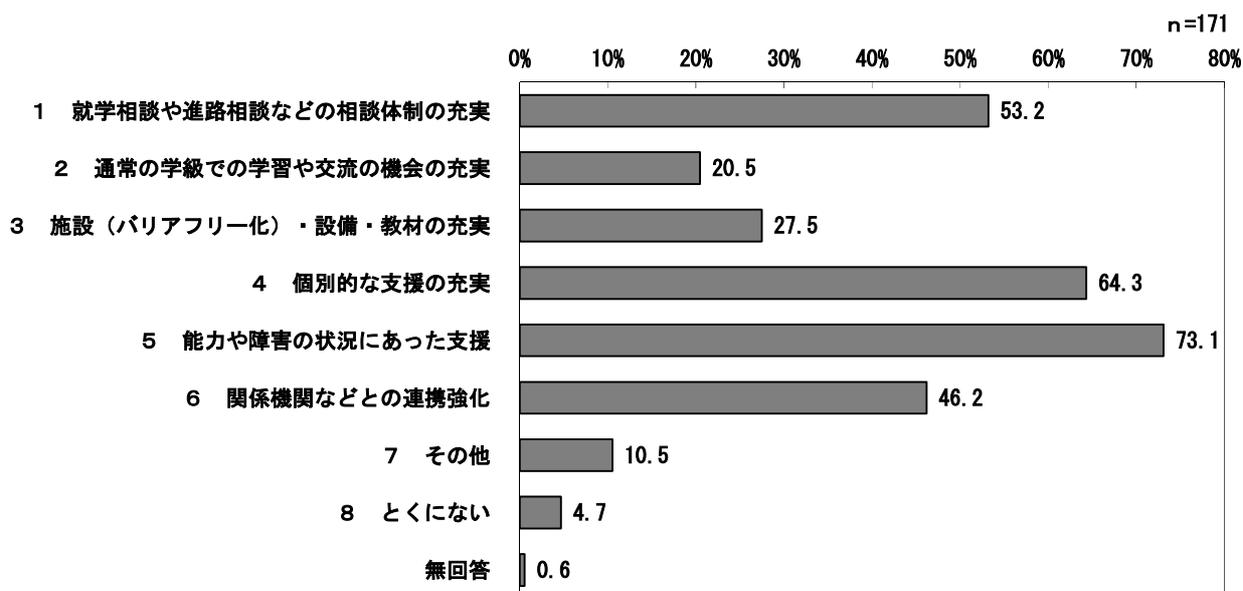
問 11-1 選択された教育施設等では、お子さんの能力や障害の状況にあった特別な支援が適切にされていますか。

「2 だいたいそう思う」が 56.4%で最も多く、次いで「1 大いにそう思う」が 25.5%、「3 あまりそう思わない」が 14.1%、「4 まったくそう思わない」が 3.4%となっています。



問 12 通園・通学・通所先等に望むことはどのようなことですか。

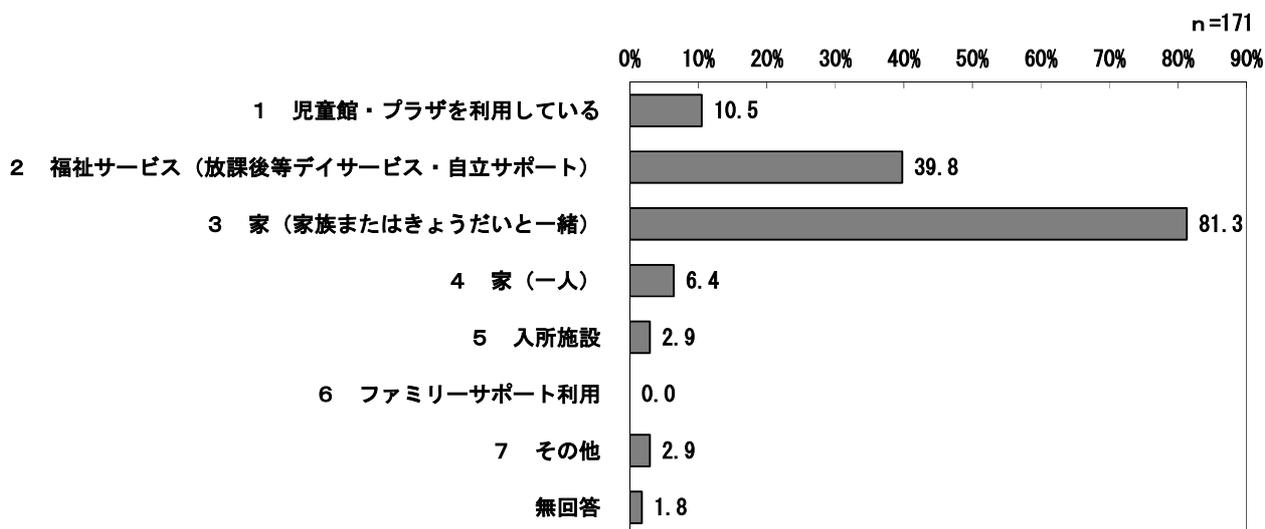
「5 能力や障害の状況にあった支援」が 73.1%で最も多く、次いで「4 個別的な支援の充実」が 64.3%、「1 就学相談や進路相談などの相談体制の充実」が 53.2%、「6 関係機関などとの連携強化」が 46.2%、「3 施設（バリアフリー化）・設備・教材の充実」が 27.5%となっています。



●主な「その他」記入: 学校やバス停までの親の負担の軽減/教員の増員、教員の質の向上/理学療法士、作業療法士、言語聴覚士(摂食含む)など専門職の常駐し/教員の知識及び認識の向上/など

問 13 お子さんの現在の放課後や長期休みの居場所についてお聞きします。

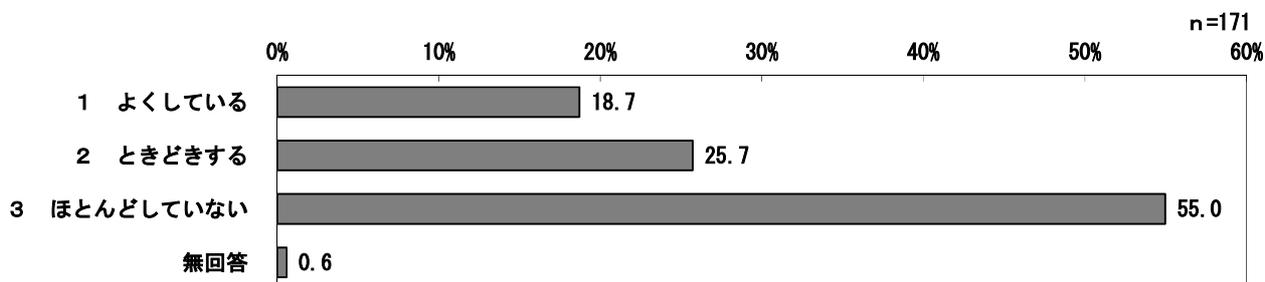
「3 家（家族またはきょうだいと一緒に）」が 81.3%で最も多く、次いで「2 福祉サービス（放課後等デイサービス・自立サポート）」が 39.8%、「1 児童館・プラザを利用している」が 10.5%、「4 家（一人）」が 6.4%、「5 入所施設」が 2.9%となっています。



●主な「その他」記入：ショートステイ／入院中／保育園／母と2人／など

問 14 お子さんは現在、スポーツ、レクリエーション、趣味などの活動はしていますか。

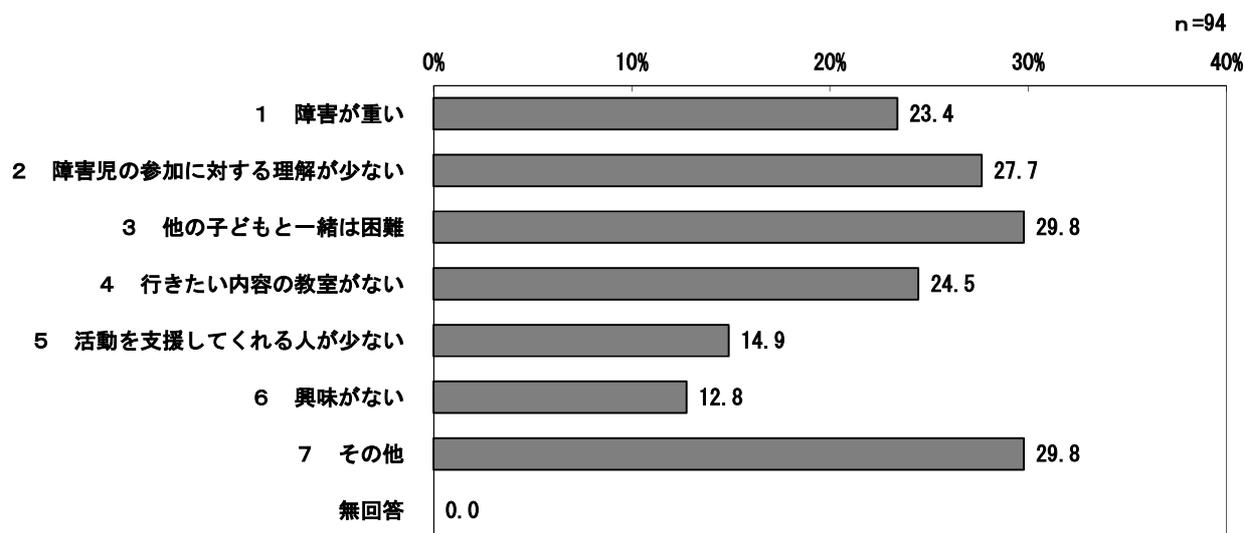
「3 ほとんどしていない」が 55.0%で最も多く、次いで「2 ときどきする」が 25.7%、「1 よくしている」が 18.7%となっています。



(問 14 で 3 を選んだ方に)

問 14-1 活動をしていない理由は何ですか。

「3 他の子どもと一緒に困難」及び「7 その他」が 29.8%で最も多く、「2 障害児の参加に対する理解が少ない」が 27.7%、「4 行きたい内容の教室がない」が 24.5%、「1 障害が重い」が 23.4%となっています。



●主な「その他」記入:親がついていかないとダメ/スポーツさせる場があるのか自分の情報不足/土、日のデイサービスがないのが困る/どういうものがあるか知らない/など

問 15 現在、日中の活動で困っていることや悩んでいることがありますか。

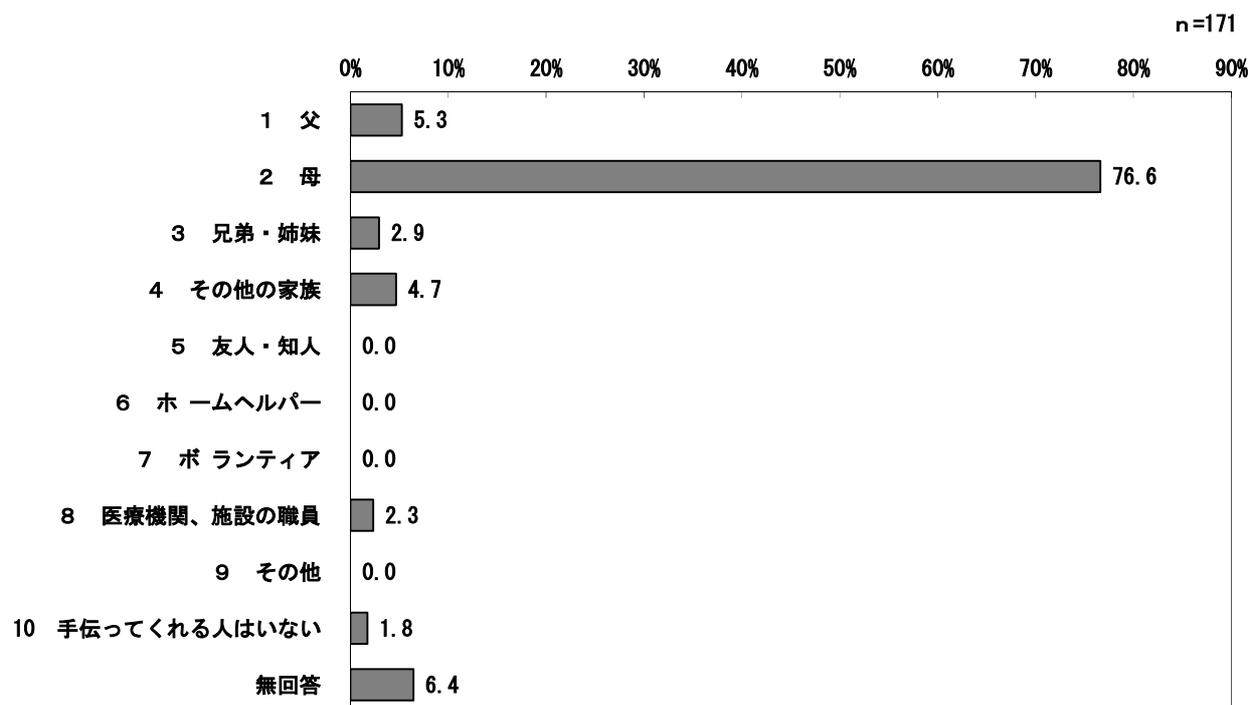
	件数	主な意見
1 障害児への理解、相談体制、情報提供の促進	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た目では健康な人と変わらない為、具合が悪い時に理解してもらえない</li> <li>・周りの人の障害児に対する認知度の低さ</li> <li>・いろんな人間が居ることを分かってほしい</li> <li>・土曜日の午前等で今後の進路相談等の機会を月1回でも設けてほしい。</li> </ul>
2 福祉サービスの促進	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉やプールに行った時、子供を寝ころんで着替えるスペースがほしい</li> <li>・スポーツや文化活動などの参加できるものがない</li> <li>・地域行事等に参加させるために必要な、日常生活のことをする技能やコミュニケーションを取る技能を日常的に教育できる機会がほしい（養護学校を含めない）</li> </ul>
3 障害児への教育環境、就労支援について	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の選び方、使い方等、病気を把握した上での効果的な方法を検討してほしい</li> <li>・クラブ活動など熱中できるものがあると良い</li> <li>・言葉の専門家が学校にいないが、「ことばの教室」は普通学級の子しか通えず見捨てられた気持になる</li> <li>・私立幼稚園に通っているが、加配の先生について欲しい</li> <li>・障害が重すぎて風邪の時、予防接種、皮膚科、耳鼻科、病院にかかれない</li> <li>・休日は家で過ごし母が全介助となっている</li> <li>・学校で適切な支援がなされていないように感じる→様々なトラブルがおきる</li> </ul>
4 保護者の経済、就労について	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への送迎、訓練、通院、PTA 活動などで、仕事を続けるためには会社の理解が必要</li> <li>・子どもの世話のために、短時間勤務、単発や在宅の仕事情報があると良いのにと常々思う</li> <li>・介護者(自分)が体調をくずしても、みてもらえないので不安</li> <li>・土日の仕事や学校が休校の時は、祖父母等に預けるが、祖父母が頼れなくなった時、どうしたらいいかと思うことがある</li> </ul>
5 医療について	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支援・サービスが統合されて使えないことが不便に感じる</li> </ul>

	件数	主な意見
6 移動サービスについて	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材不足を感じる</li> <li>・親の負担、通学介助の負担を考えると、居住学区の市の学校に通学すれば十分ではないかを感じる事がある</li> <li>・どこに行くにも自家用車で移動せねばならず、車いすの載せ降ろしと子どもの肉体的・精神的な負担がたいへん</li> <li>・車いす利用者の駐車スペースが全く無いか、あっても関係のない車に占領されている</li> <li>・療育の園の時間帯が仕事をしていると送迎に影響して困る</li> <li>・保育園のように延長保育の時間があってほしい</li> </ul>
7 施設利用、サービスについて	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児の施設がなく、あっても遠い、いっぱい参加できない</li> <li>・休学中の平日は私（保護者）の仕事の都合上、自立サポート等に毎日預けたいが日数制限がある、人数が多くて希望通り預けることができずに困る</li> <li>・事業所をいくつもかけもったり、休みをとったりが大変</li> <li>・仕事をもたない専業主婦の家庭とは別に受け入れる体制をつくってほしい</li> <li>・児童館、プラザでは体が弱いということで断られた為、放課後、長期休みに居場所がない</li> </ul>
合計	62	

## ～ 身の回りのことについて ～

問 16 お子さんの身の回りの手伝いが必要なとき、主に誰に手伝ってもらいますか。

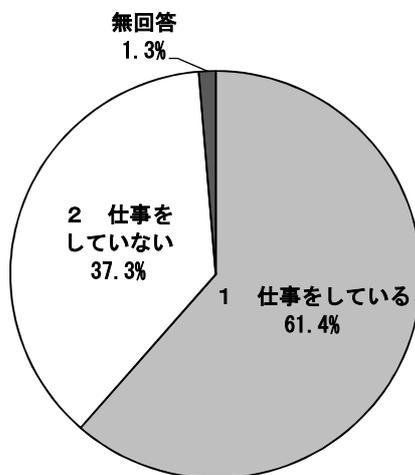
「2 母」が76.6%で最も多く、次いで「1 父」が5.3%、「4 その他の家族」が4.7%、「3 兄弟・姉妹」が2.9%、「8 医療機関、施設の職員」が2.3%となっています。



(問 16 で 1～5 を選んだ方は、問 16-1、問 16-2、問 16-3 にお答えください)

問 16-1 その方は仕事をしていますか。

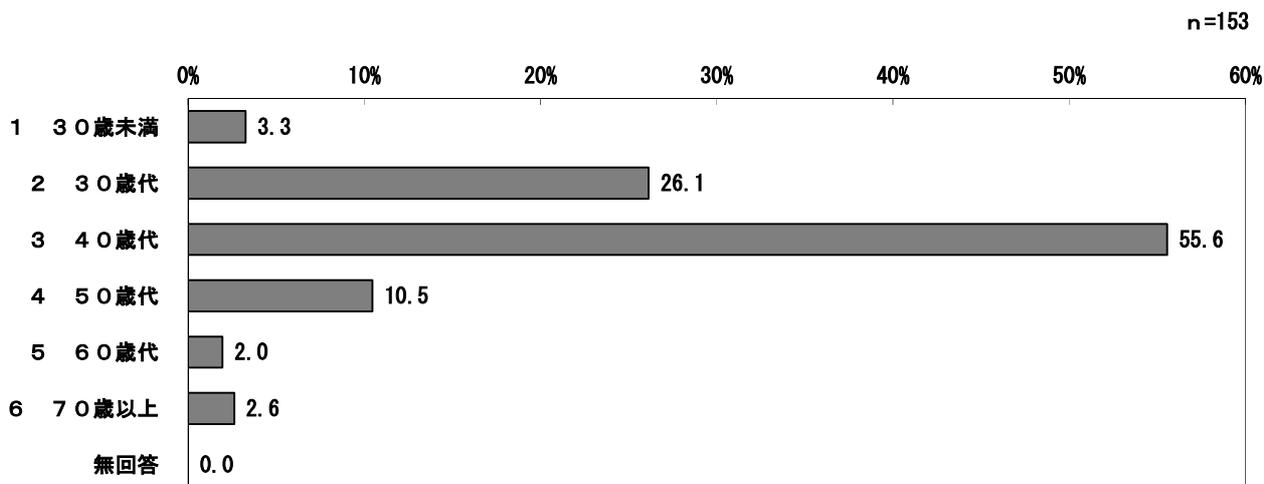
「1 仕事をしている」が 61.4%、「2 仕事をしていない」が 37.3%となっています。



n=153

問 16-2 その方の年齢は何歳ですか。

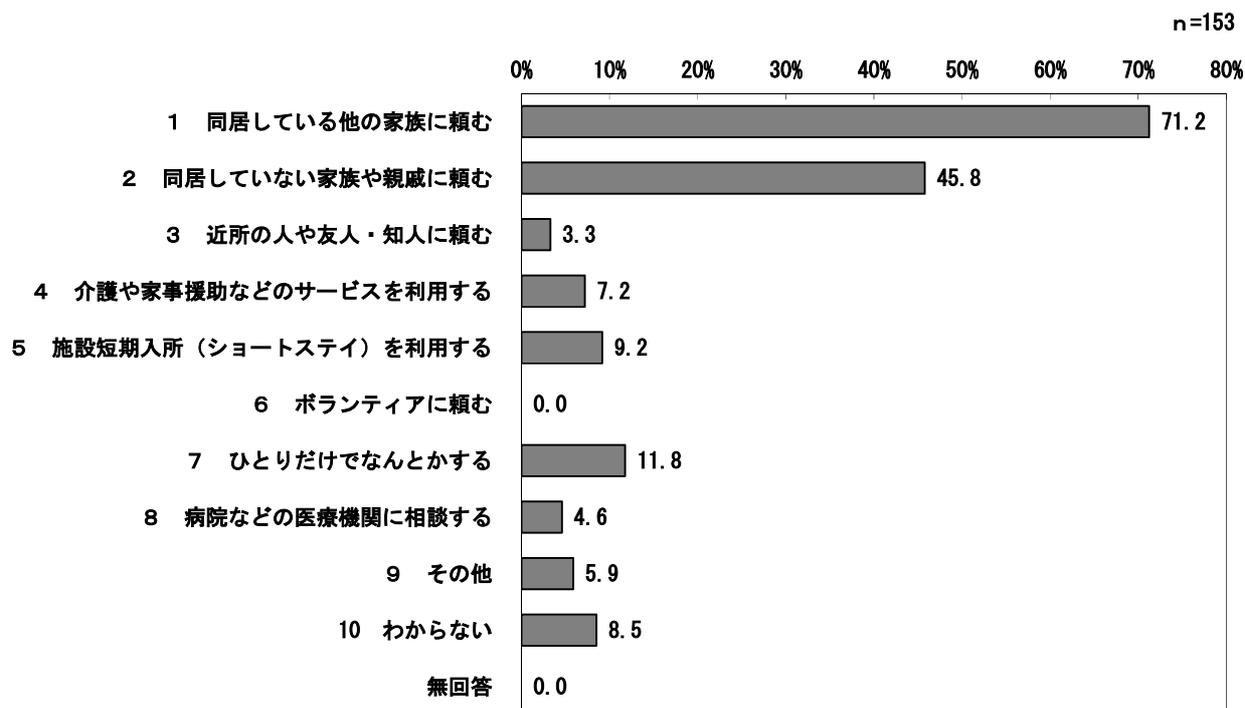
「3 40歳代」が 55.6%で最も多く、次いで「2 30歳代」が 26.1%、「4 50歳代」が 10.5%、「1 30歳未満」が 3.3%、「6 70歳以上」が 2.6%となっています。



n=153

問 16-3 その方が手伝えなくなった場合、どうしますか。

「1 同居している他の家族に頼む」が 71.2%で最も多く、次いで「2 同居していない家族や親戚に頼む」が 45.8%、「7 ひとりだけでなんとかする」が 11.8%、「5 施設短期入所（ショートステイ）を利用する」が 9.2%、「10 わからない」が 8.5%となっています。

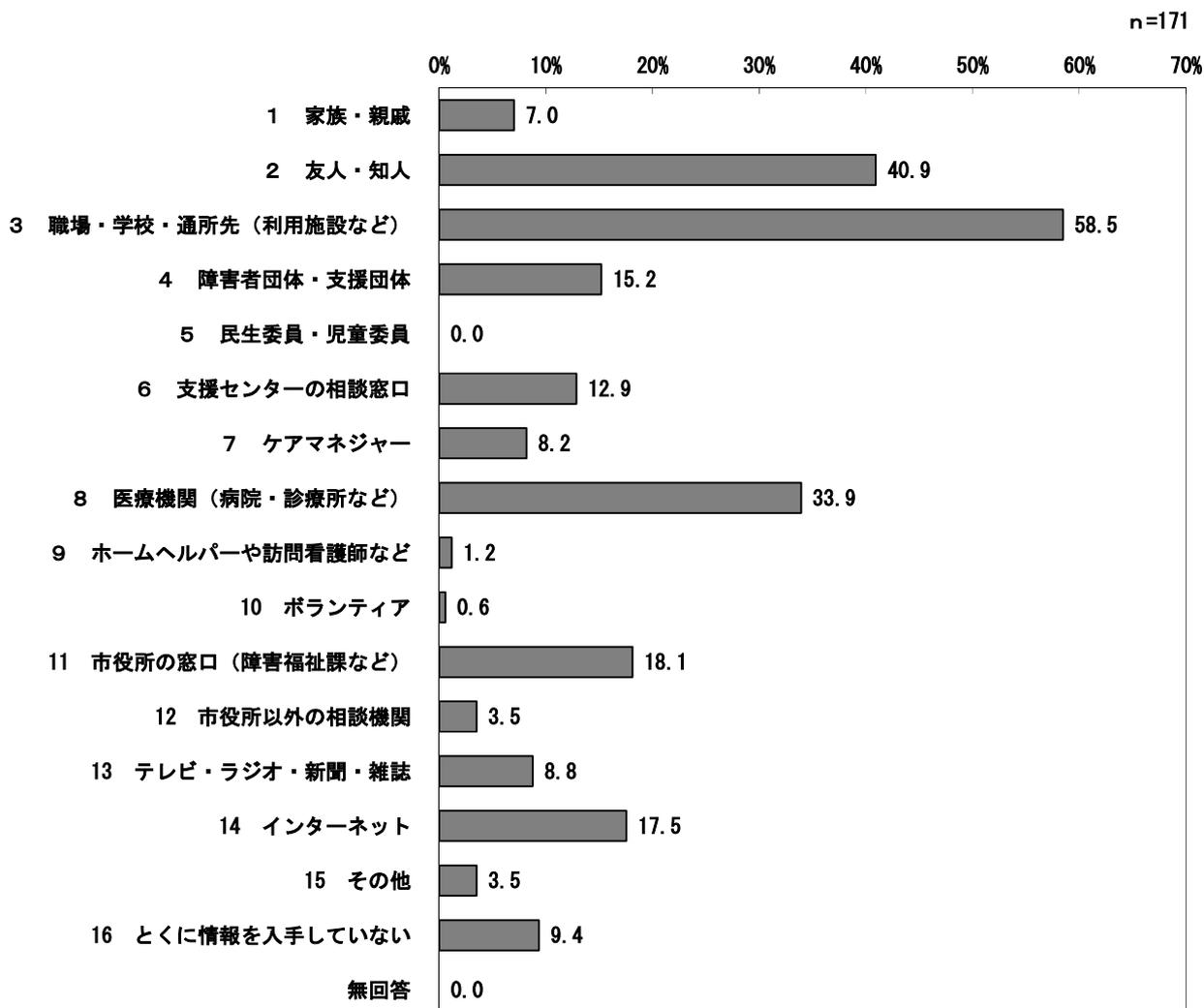


●主な「その他」記入:会社を休む／子供を1人で家に置いていくことも(現実的には)ある／福祉サービスを利用する／支援相談専門員、療育コーディネーターに相談する／途方に暮れるしかない…／など

## ～ 情報収集について ～

問 17 あなたは、お子さんの福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

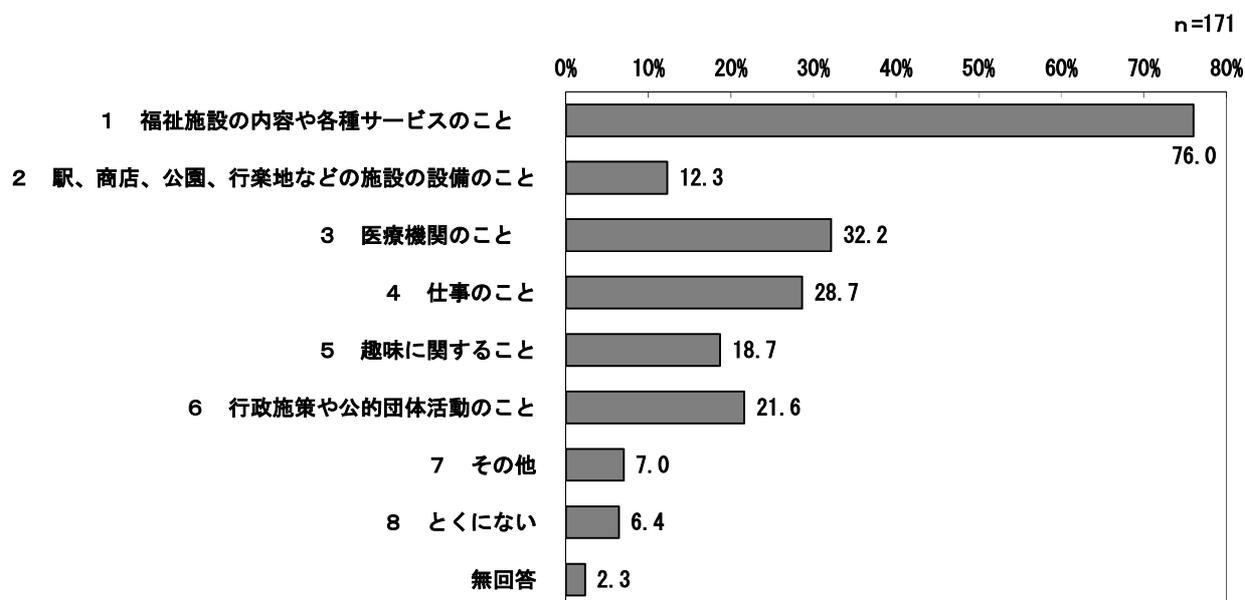
「3 職場・学校・通所先（利用施設など）」が 58.5%で最も多く、次いで「2 友人・知人」が 40.9%、「8 医療機関（病院・診療所など）」が 33.9%、「11 市役所の窓口（障害福祉課など）」が 18.1%、「14 インターネット」が 17.5%となっています。



●主な「その他」記入:福祉ネット／誰も教えてくれない／学校入学前に、福祉施設や保健所の勉強会で学んだ／同じようにハンデをもった親仲間／など

問 18 あなたが、ほしい情報はどのような内容ですか。

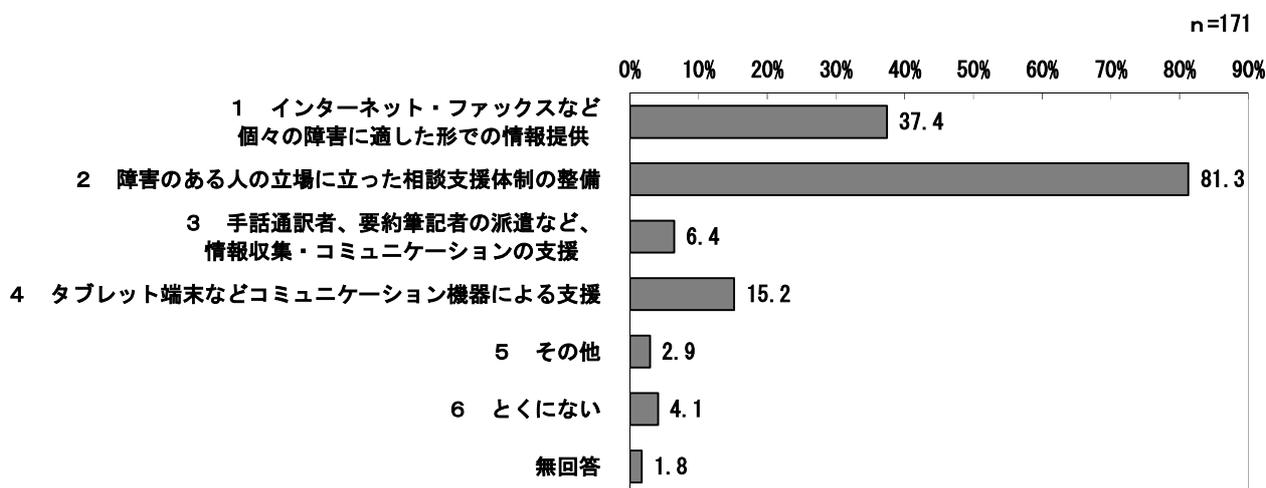
「1 福祉施設の内容や各種サービスのこと」が 76.0%で最も多く、次いで「3 医療機関のこと」が 32.2%、「4 仕事のこと」が 28.7%、「6 行政施策や公的団体活動のこと」が 21.6%、「5 趣味に関すること」が 18.7%となっています。



●主な「その他」記入:福祉施設の具体的な受け入れレベルで「将来」でなくすぐ使えるサービス機関の受け入れ状況/障害者ができる活動について/将来どのように自立できるか、などの今後について/同じ状態の子どもを持つ家庭との交流の回り方/など

問 19 あなたは、障害のある子どもの保護者として、情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか

「2 障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 81.3%で最も多く、次いで「1 インターネット・ファックスなど個々の障害に適した形での情報提供」が 37.4%、「4 タブレット端末などコミュニケーション機器による支援」が 15.2%、「3 手話通訳者、要約筆記者の派遣など、情報収集・コミュニケーションの支援」が 6.4%、「6 とくにない」が 4.1%となっています。

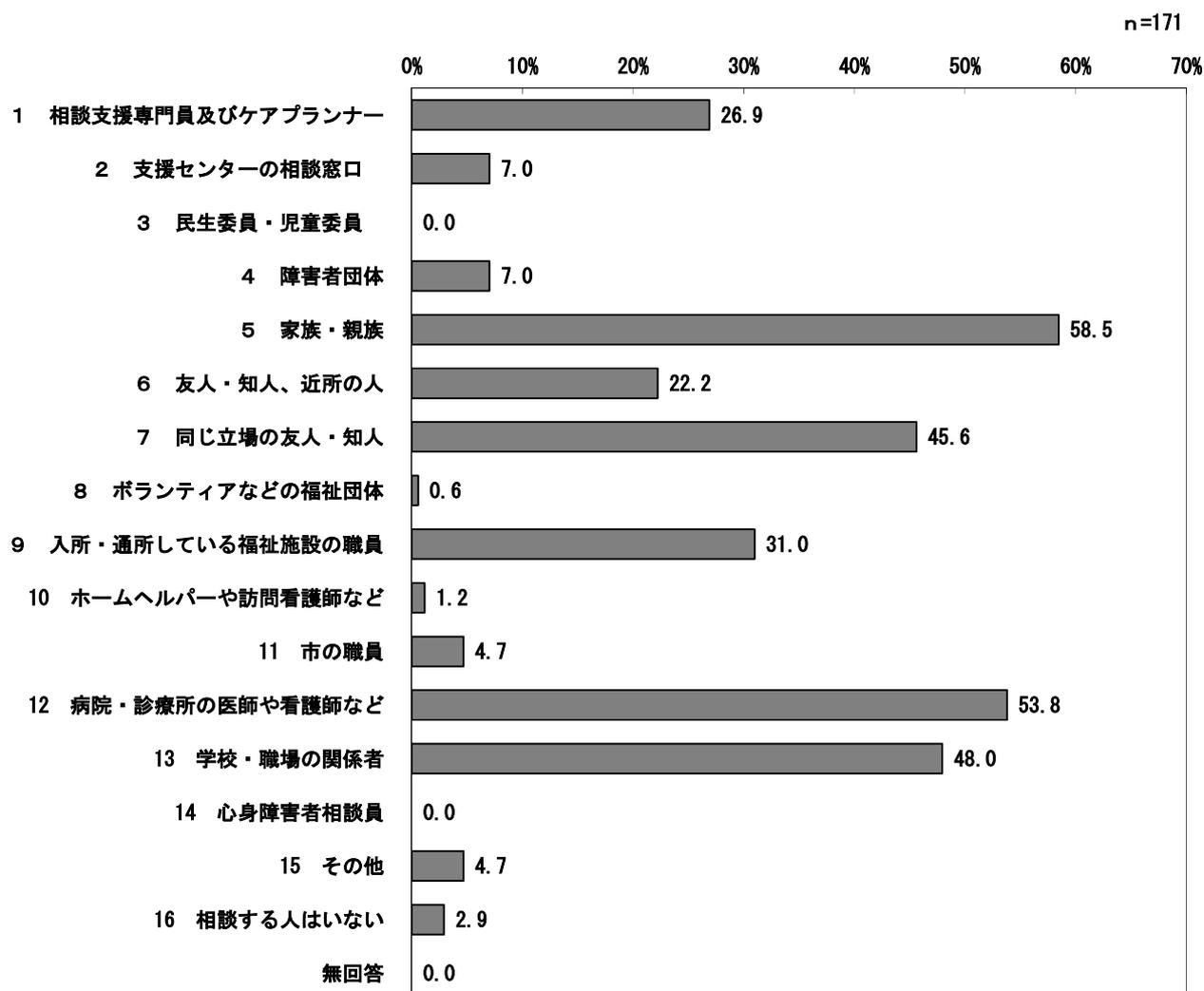


●主な「その他」記入:市や市の委託機関の専門相談員のレベルアップ／情報を個々に知らせて、相談できる人・場所をわかりやすく作ってほしい／定期的に各家庭を訪問して情報提供してくれる／同じ立場の保護者(少し先輩)の情報が欲しい／など

## ～ 相談ごとについて ～

問 20 あなたは、お子さんの支援の中で、生活上の悩みごとや心配ごとを誰に相談していますか。

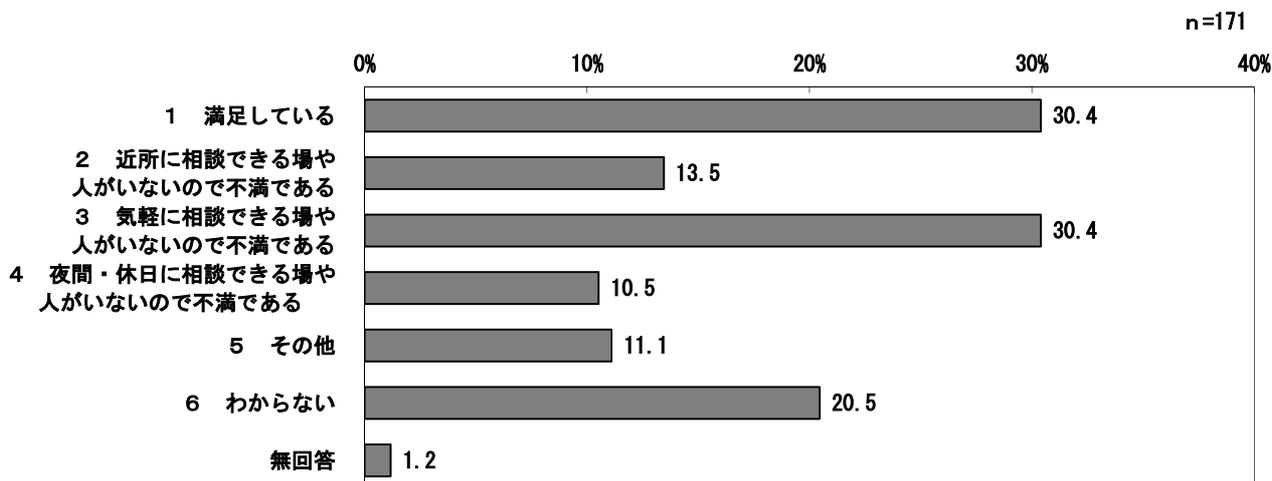
「5 家族・親族」が 58.5%で最も多く、次いで「12 病院・診療所の医師や看護師など」が 53.8%、「13 学校・職場の関係者」が 48.0%、「7 同じ立場の友人・知人」が 45.6%、「9 入所・通所している福祉施設の職員」が 31.0%となっています。



●主な「その他」記入: 病院の作業療法士／保育園の先生／療育を受けている OT、ST の先生／母／など

問 21 現在の困った時の相談体制について、あなたはどのように感じていますか。

「1 満足している」及び「3 気軽に相談できる場や人がいないので不満である」が 30.4%で最も多く、「6 わからない」が 20.5%、「2 近所に相談できる場や人がいないので不満である」が 13.5%、「5 その他」が 11.1%となっています。

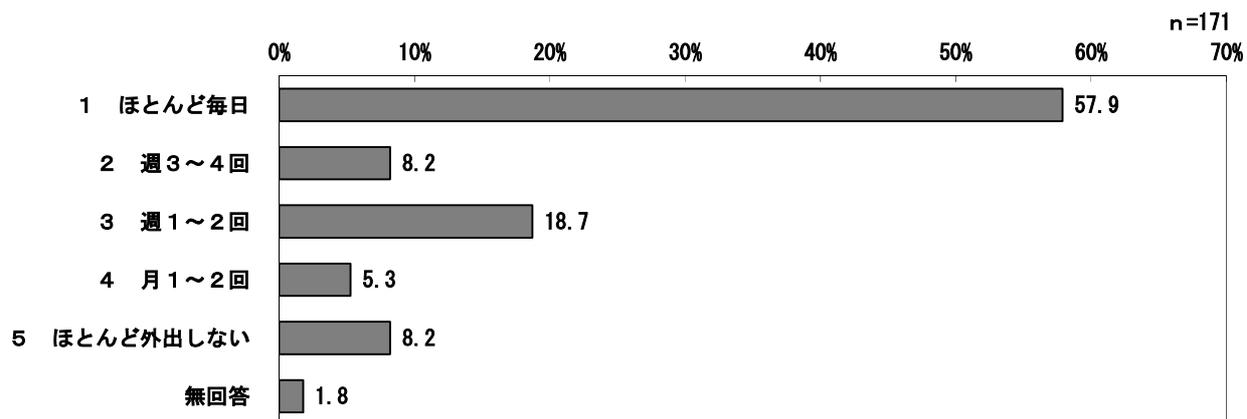


●主な「その他」記入：相談しても相手に知識がない／養護学校などを“核”として、福祉施設や病院などでトータルに障がい児のことを考えようとするシステムはあるが、実際には“形”だけで、何ら役に立っていないと感じている／カミングアウトして良い人かどうか迷う時がある(偏見の目で見られた事があるため)／病気の知識を持っている方が少なく、相談しても的確なアドバイスをしてくれる人がいないので、先の見通しがない／など

## ～ お子さんの外出について ～

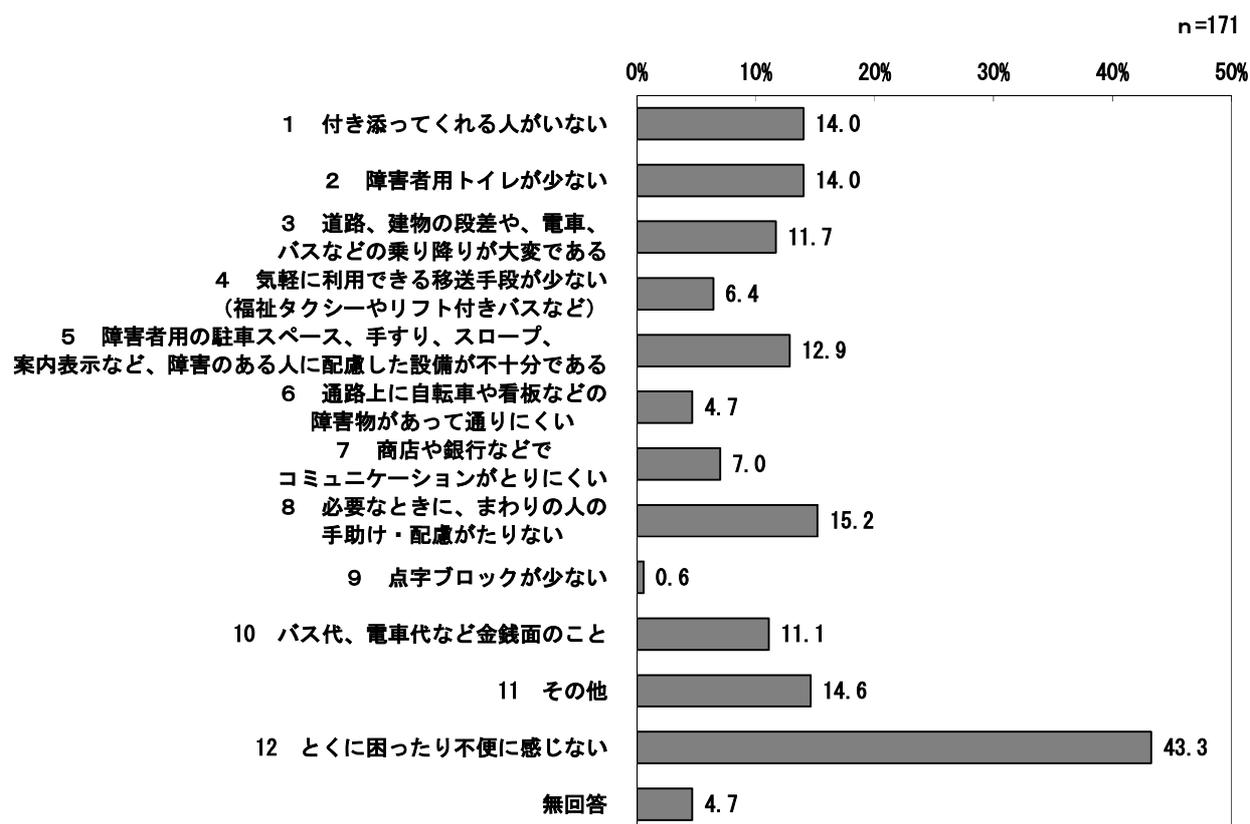
問 22 お子さんは、普段どのくらい外出しますか。

「1 ほとんど毎日」が57.9%で最も多く、次いで「3 週1～2回」が18.7%、「2 週3～4回」及び「5 ほとんど外出しない」が8.2%、「4 月1～2回」が5.3%となっています。



問 23 外出の際に困ったり、不便に感じることはありますか。

「12 とくに困ったり不便に感じない」が 43.3%で最も多く、次いで「8 必要なときに、まわりの人の手助け・配慮がたりない」が 15.2%、「11 その他」が 14.6%、「1 付き添ってくれる人がいない」及び「2 障害者用トイレ(オストメイト対応トイレ含む)が少ない」が 14.0%となっています。

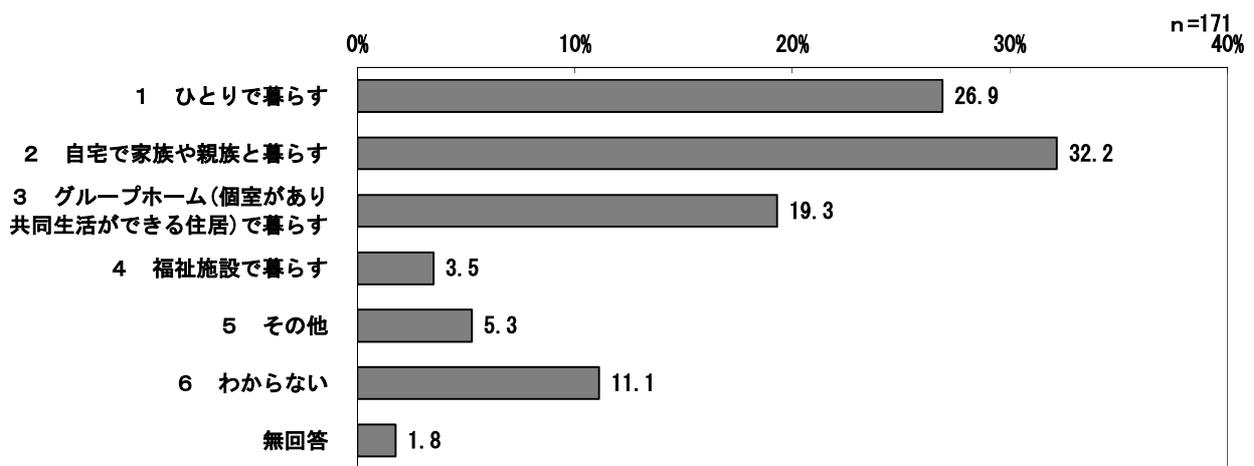


●主な「その他」記入: 高速道路の料金(県立こども病院に通院しているため)／子供がパニックを起こした時の、周囲の視線が恐くて、公共の乗り物に乗るのをためらう／休日に近所の公園へ行く程度なので今の所、不便ではない／障害を持つ人に対し認知度が長野市は低いと感じる／電車の廃線、バスの運行本数が少ない／など

## ～ 今後の生活について ～

問 24 あなたは、お子さんが将来どのような生活を送れるようにしたいとお考えですか。

「2 自宅で家族や親族と暮らす」が 32.2%で最も多く、次いで「1 ひとりで暮らす」が 26.9%、「3 グループホーム(個室があり共同生活ができる住居)で暮らす」が 19.3%、「6 わからない」が 11.1%、「5 その他」が 5.3%となっています。

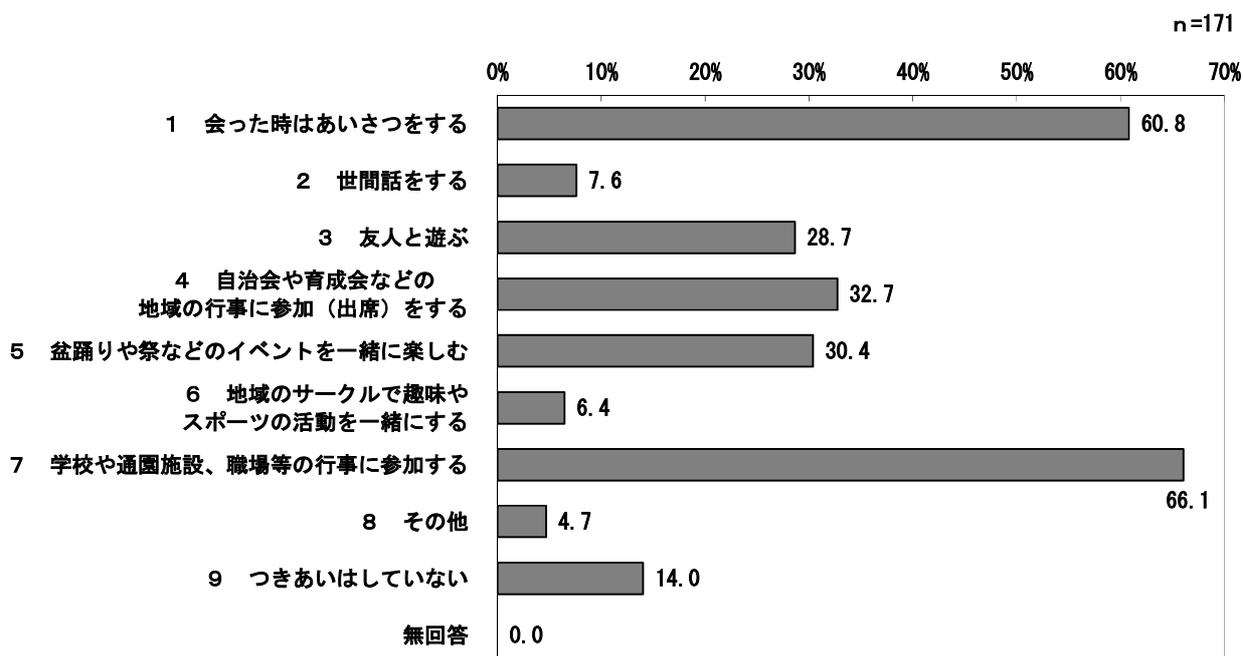


●主な「その他」記入:親か介護できなくなったら、福祉施設／結婚をして普通に暮らす／普通の人と結婚して生活してほしい／家族と一緒に暮らせるうちは家族と暮らしたいが、その先は、グループホームや福祉施設で暮らしたい／など

## ～ 地域とのかかわりについて ～

問 25 お子さんは、ふだん地域の人とどのようなおつきあいをしていますか。

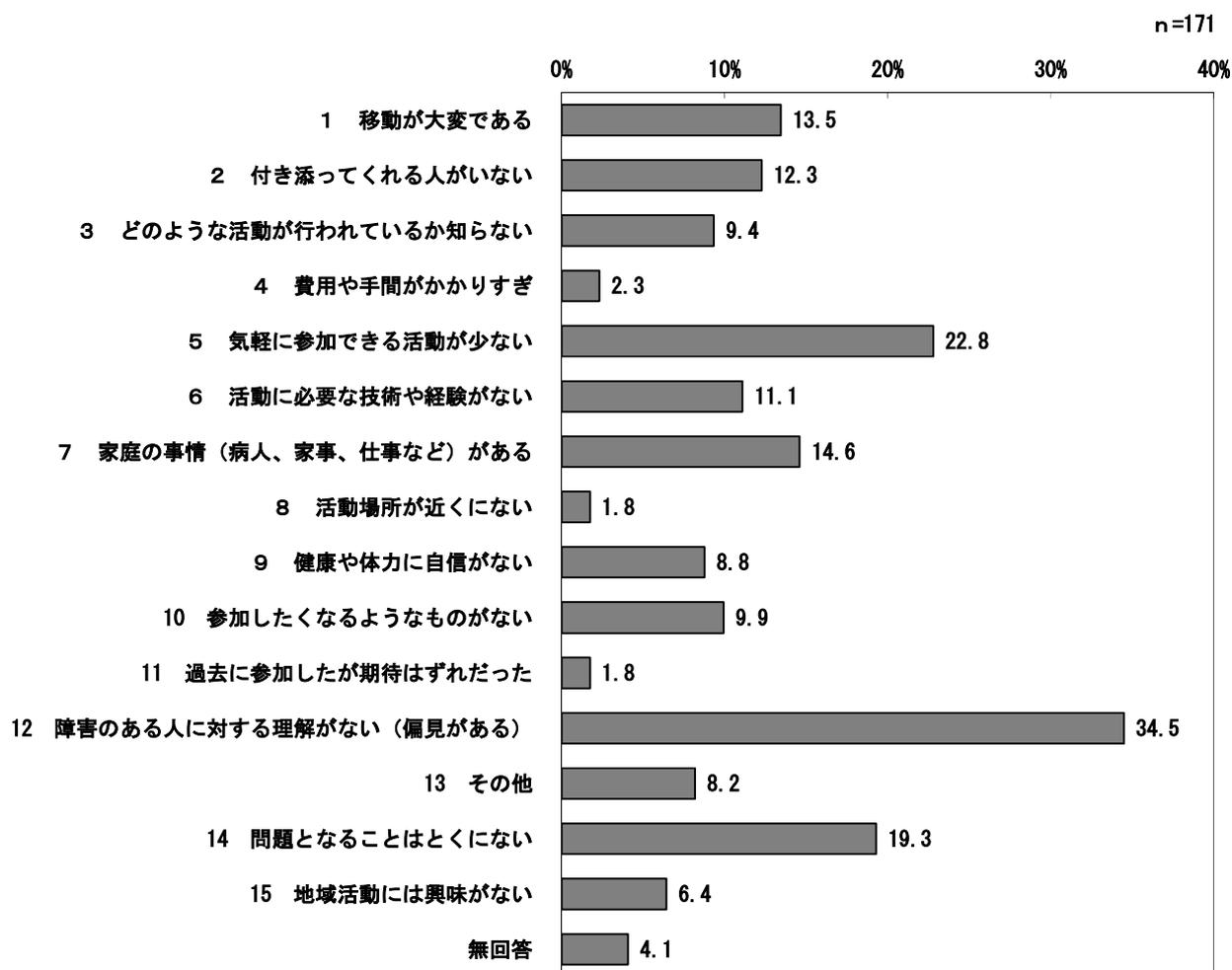
「7 学校や通園施設、職場等の行事に参加する」が 66.1%で最も多く、次いで「1 会った時はあいさつをする」が 60.8%、「4 自治会や育成会などの地域の行事に参加（出席）をする」が 32.7%、「5 盆踊りや祭などのイベントを一緒に楽しむ」が 30.4%、「3 友人と遊ぶ」が 28.7%となっています。



●主な「その他」記入:関わる機会がない／居住地の小学校に年2回程度交流学习／弟の友人らと一緒に遊ぶ／登下校は地域の方々が見守って下さっています。トイレを借りたり、暑い日に飲み物を頂いたり…。ありがたいです／人が苦手なためできる事とできない事がある／など

問 26 お子さんが地域活動に参加する場合、問題となることは何ですか。

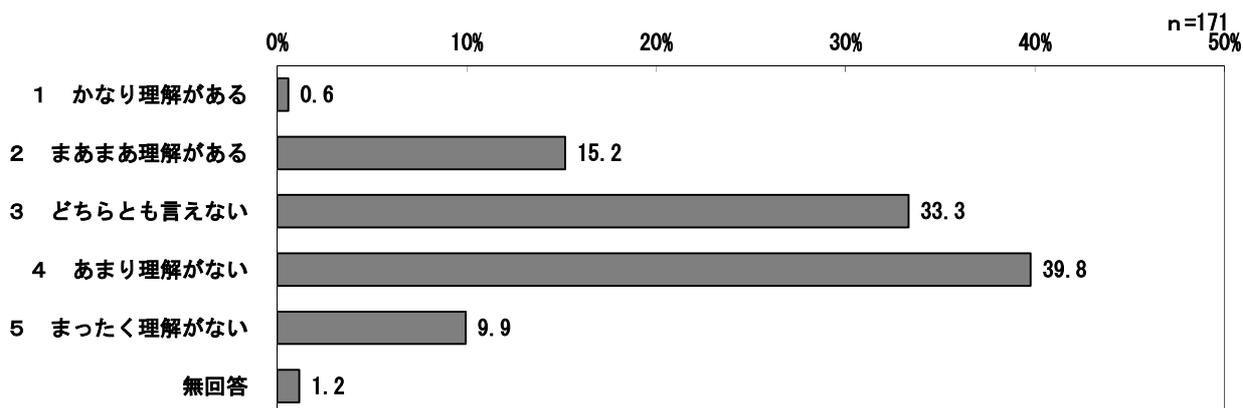
「12 障害のある人に対する理解がない（偏見がある）」が 34.5%で最も多く、次いで「5 気軽に参加できる活動が少ない」が 22.8%、「14 問題となることはとくにない」が 19.3%、「7 家庭の事情（病人、家事、仕事など）がある」が 14.6%、「1 移動が大変である」が 13.5%となっています。



●主な「その他」記入：一緒に活動出来るか、迷惑をかけないか心配／電力が必要／見た目普通でおかしなことをするので、すごく気をつかう。ただし少しずつ理解してくれる人は増えている／ひとりだけでの移動はまだ心配がある／よくわからない。地域活動とはどのようなものなのか…／など

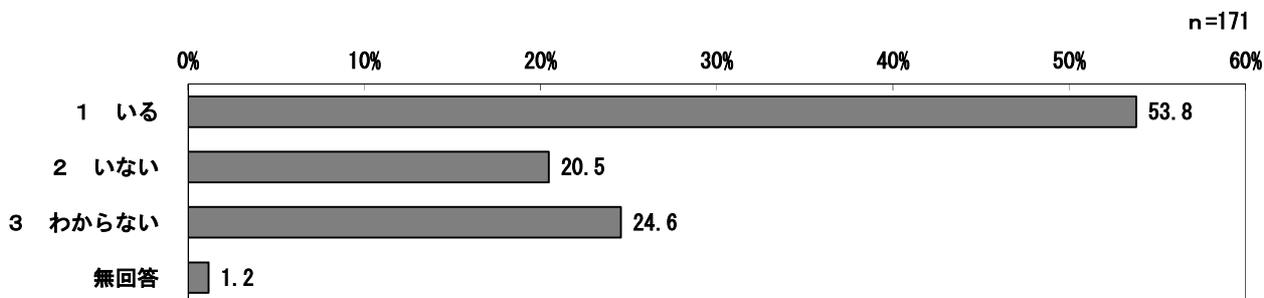
問 27 あなたは、障害のある人に対する市民の理解についてどのように感じていますか。

「4 あまり理解がない」が 39.8%で最も多く、次いで「3 どちらとも言えない」が 33.3%、「2 まあまあ理解がある」が 15.2%、「5 まったく理解がない」が 9.9%、「1 かなり理解がある」が 0.6%となっています。



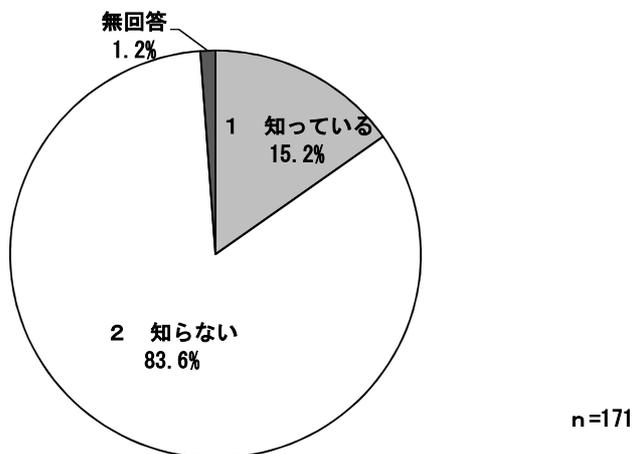
問 28 お子さんには、急病などの緊急時や地震、台風などの災害時に手助けをしてくれる人が身近にいますか。

「1 いる」が 53.8%で最も多く、次いで「3 わからない」が 24.6%、「2 いない」が 20.5%となっています。



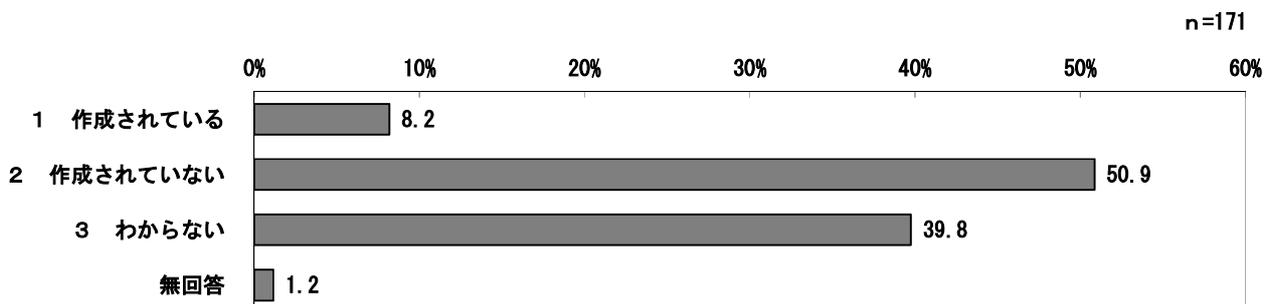
問 29 あなたは、避難行動要支援者台帳を知っていますか (○は1つだけ)

「1 知っている」が15.2%、「2 知らない」が83.6%となっています。



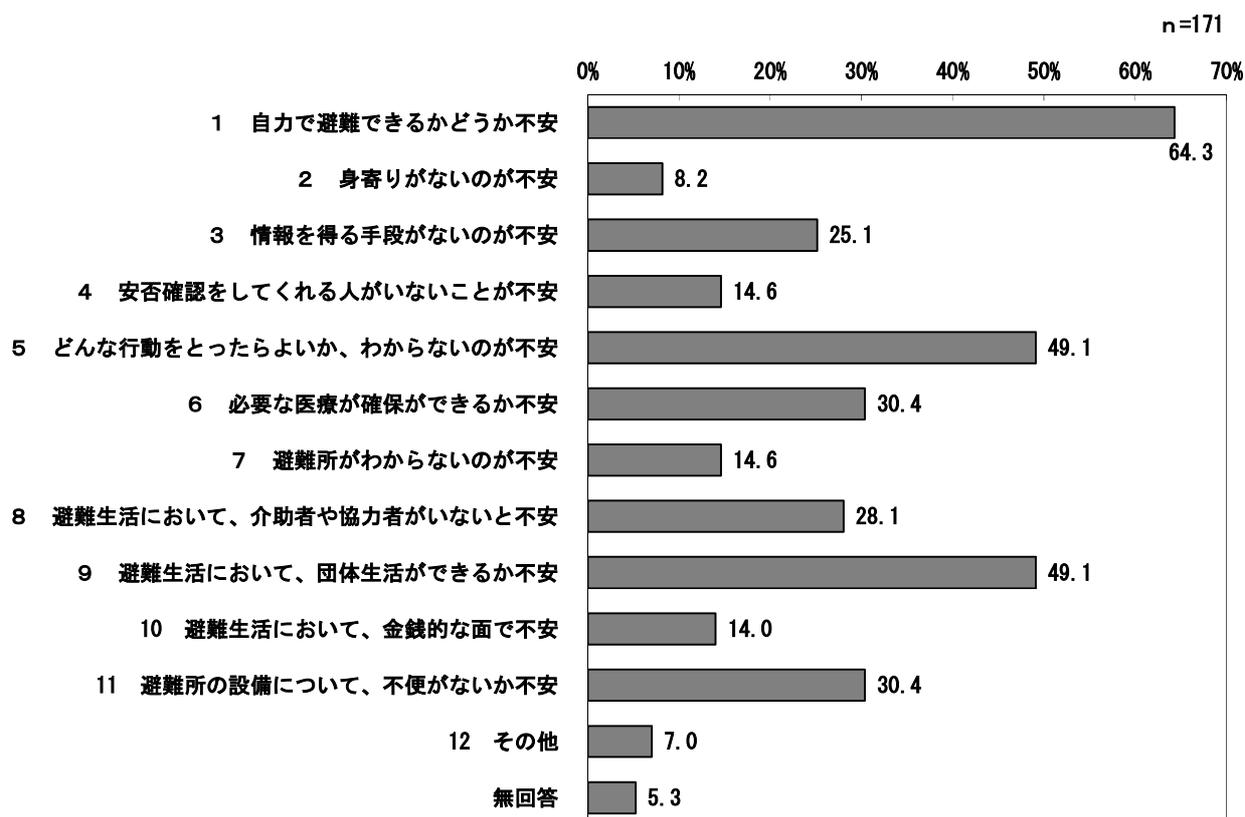
問 30 地域の民生委員など、地域の防災関係者と相談して避難支援計画が作成されていますか

「2 作成されていない」が50.9%で最も多く、次いで「3 わからない」が39.8%、「1 作成されている」が8.2%となっています。



問 31 あなたは災害時を想定した場合、お子さんにどのような不安がありますか。

「1 自力で避難できるかどうか不安」が 64.3%で最も多く、次いで「5 どんな行動をとったらよいか、わからないのが不安」が 49.1%、「9 避難生活において、団体生活ができるか不安」が 49.1%、「6 必要な医療が確保ができるか不安」が 30.4%、「11 避難所の設備について、不便がないか不安」が 30.4%となっています。

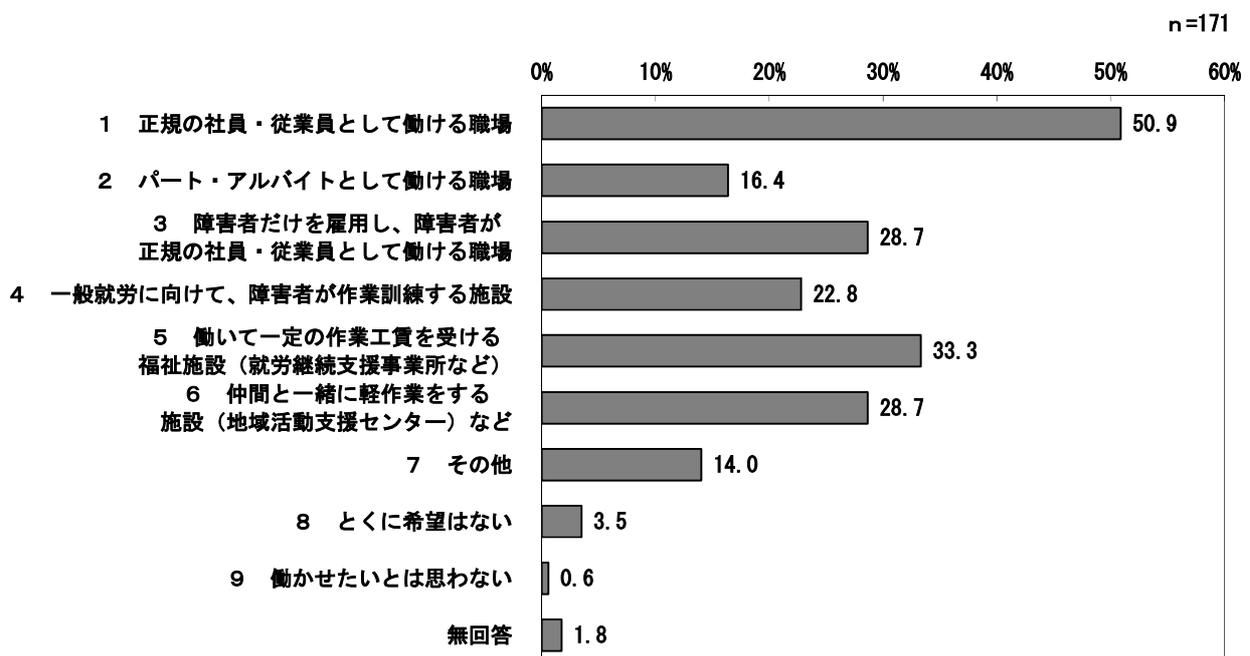


●主な「その他」記入:キカイ用の充電ができるか不安／音に過敏だったり、新しいところに慣れるまでおちつかない。でも見た目普通なので人によってはしつけがなっていない！！ということで避難生活は相当厳しいと思う／大学生の為、他所で一人暮らし／状況把握、危険認知できないので、マンツーマンで支援者が確保できるか不安／避難場所では、他の方との共住は無理だと考えているので、どこで避難生活を送ったらよいか、検討がつかない／など

## ～ お子さんの将来の就労について ～

問 32 あなたはお子さんが将来「働く場」として、どのようなところを希望しますか。

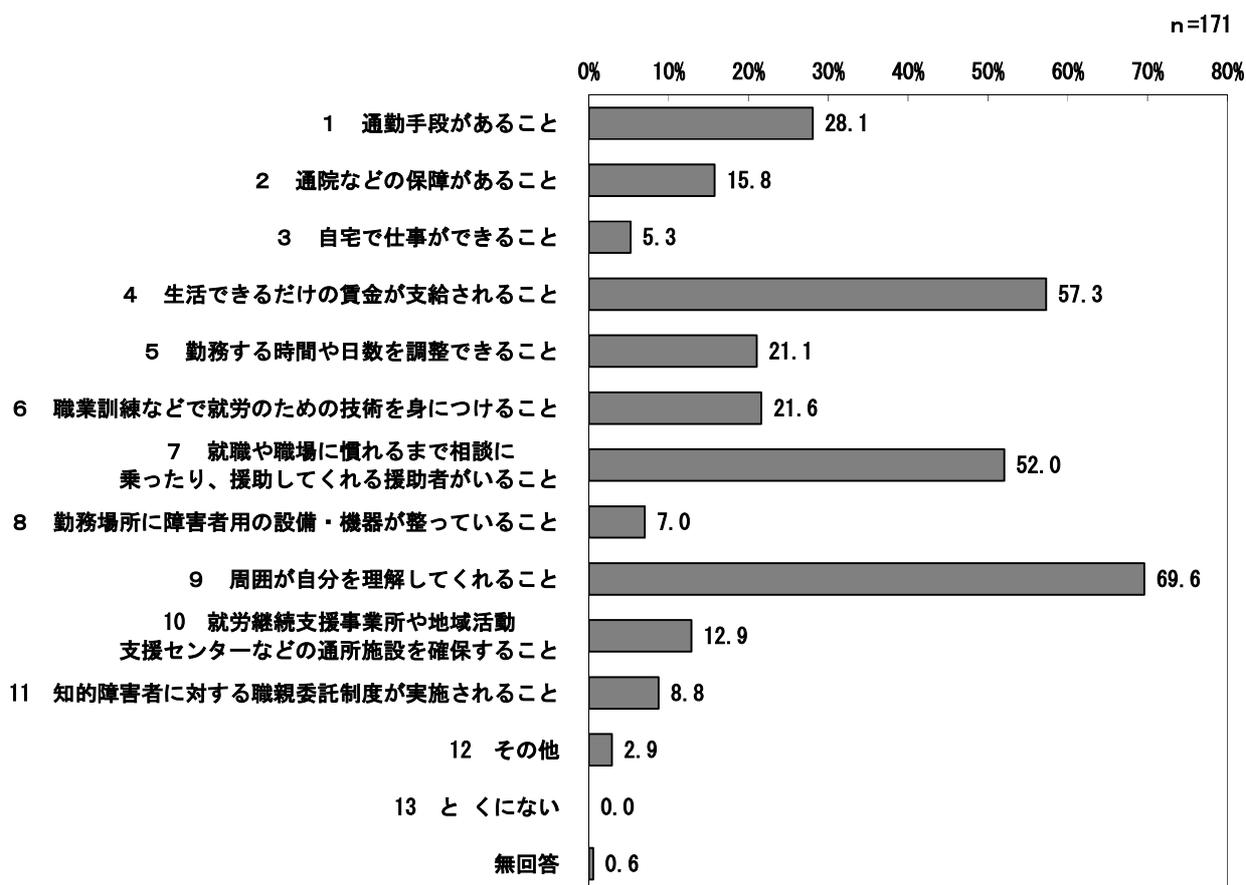
「1 正規の社員・従業員として働ける職場」が 50.9%で最も多く、次いで「5 働いて一定の作業工賃を受ける福祉施設（就労継続支援事業所など）」が 33.3%、「3 障害者だけを雇用し、障害者が正規の社員・従業員として働ける職場」及び「6 仲間と一緒に軽作業をする施設（地域活動支援センター）など」が 28.7%、「4 一般就労に向けて、障害者が作業訓練する施設」が 22.8%となっています。



●主な「その他」記入：居るだけで良い場所にいらればよいが、1種1級、A1で働くのは無理／働けると思えない／すごく偏っていて、できる部分は伸ばしていきたい。視点が他の人と違う面があるので、専門的な方に進めばのびるかもしてないので、子どもの適正について調べたり、相談支援の体制を希望／佐賀県のような取り組みがあればと思う／本人の特性、希望に合った職場／など

問 33 障害のある人が働くためには、どのような環境が整っていることが大切だと思いますか。

「9 周囲が自分を理解してくれること」が 69.6%で最も多く、次いで「4 生活できるだけの賃金が支給されること」が 57.3%、「7 就職や職場に慣れるまで相談に乗ったり、援助してくれる援助者がいること」が 52.0%、「1 通勤手段があること」が 28.1%、「6 職業訓練などで就労のための技術を身につけること」が 21.6%となっています。

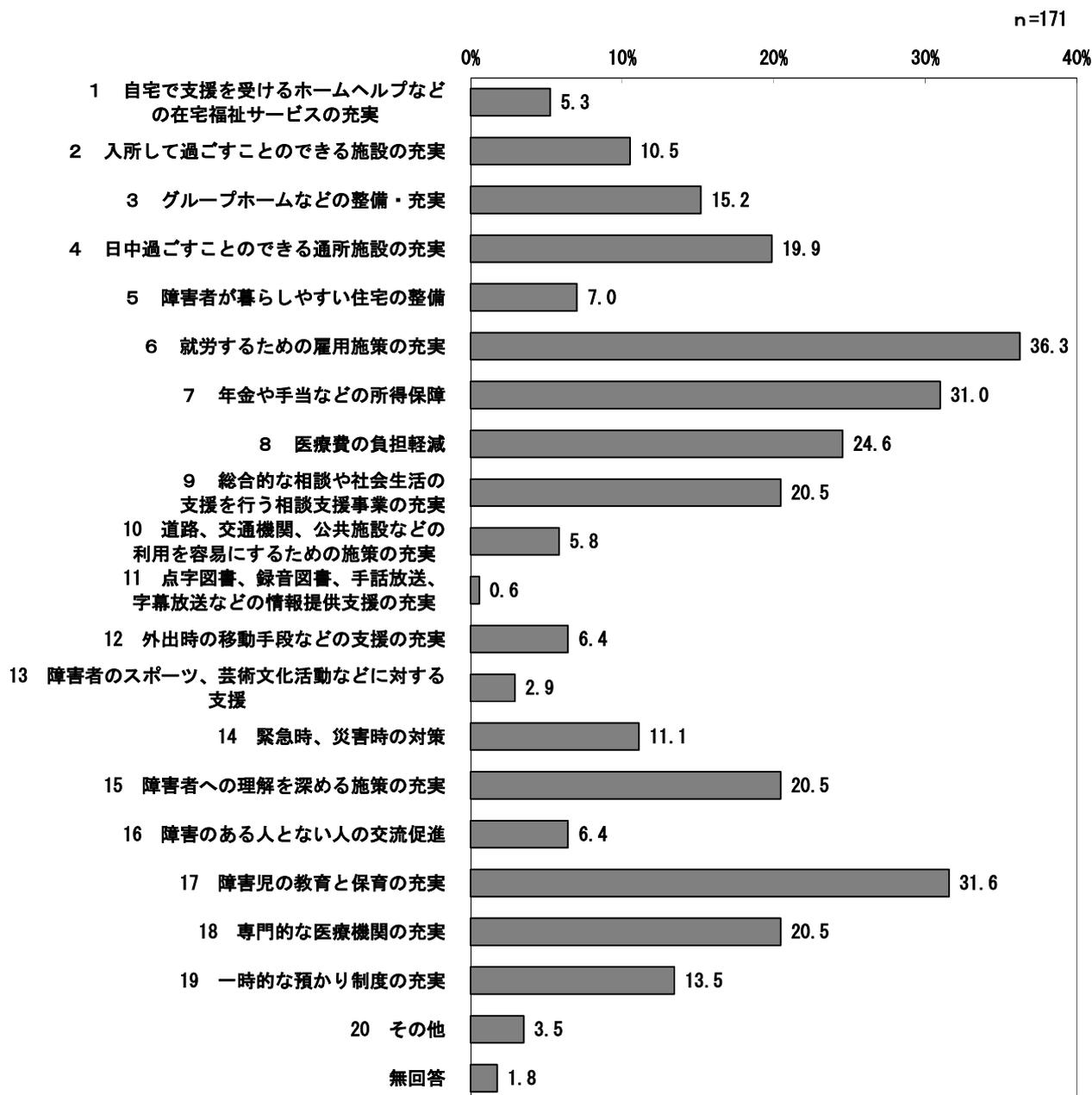


●主な「その他」記入：主なもの3つにしぼれるわけもない／障がい者の“働く場所”と“生活する場所”をトータルで考えられるシステムづくりとそれを担っていける人材づくり／生活介護ではなく働けること／など

## ～ 長野市の施策について ～

問 34 今後、市が取り組むべき施策として、何が重要だと思いますか。

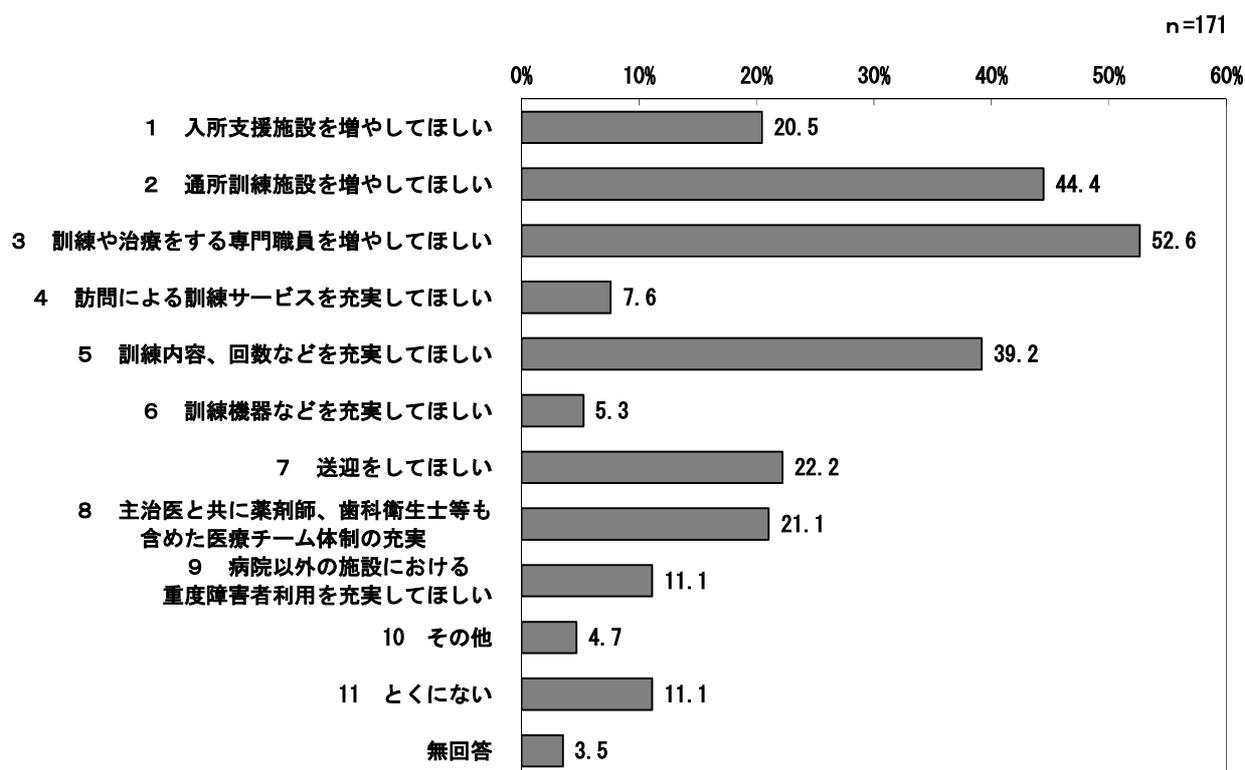
「6 就労するための雇用施策の充実」が 36.3%で最も多く、次いで「17 障害児の教育と保育の充実」が 31.6%、「7 年金や手当などの所得保障」が 31.0%、「8 医療費の負担軽減」が 24.6%、「9 総合的な相談や社会生活の支援を行う相談支援事業の充実」、「15 障害者への理解を深める施策の充実」、「18 専門的な医療機関の充実」が 20.5%となっています。



●主な「その他」記入:福祉に関わる市の職員が「障害者の日々の過ごし方」を知って、自ら問題点・課題に気付く事。事前に考えなしに我々の生活に関わる事は出来ないのではないか/市全体の障害者に対する意識、理解、特に市の職員/障がい者が生きていける就労場所と生活基盤が一体となったシステムづくりと人材育成/障害者の家族のサポートを家族目線でお願したい/など

問 35 施設や病院での訓練や治療について、保護者が希望することはどんなことですか。

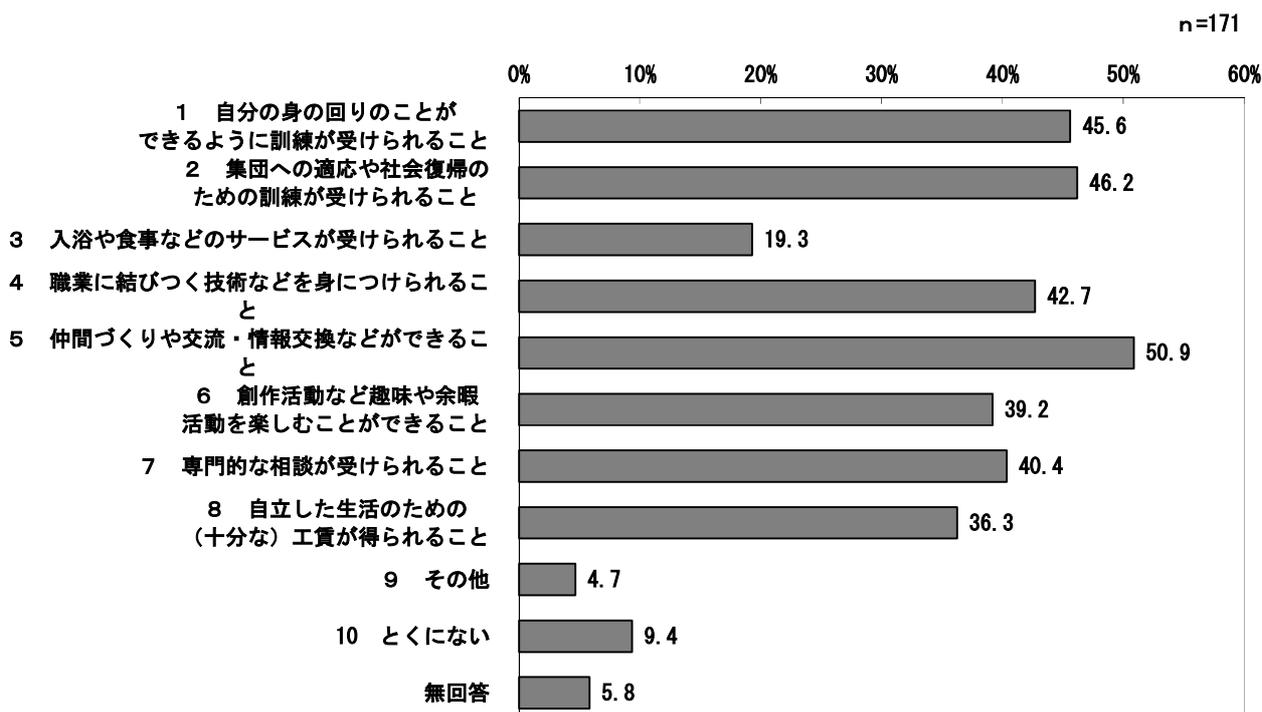
「3 訓練や治療をする専門職員を増やしてほしい」が 52.6%で最も多く、次いで「2 通所訓練施設を増やしてほしい」が 44.4%、「5 訓練内容、回数などを充実してほしい」が 39.2%、「7 送迎をしてほしい」が 22.2%、「8 主治医と共に薬剤師、歯科衛生士等も含めた医療チーム体制の充実」が 21.1%となっています。



●主な「その他」記入：訓練施設が遠い。訓練ひとコマ(40分)受けるのに、1カ所は片道40分、もう1カ所は片道1h30minsかけて通っている。家の近くにないと継続出来ない／教育・支援サービス、医療の連携相談／皆、違う障害なのに訓練内容がみんな同じことをしているので個人に合った内容にしてほしい／日常生活技能の習得やコミュニケーション技能の習得を養護学校・家庭と連携して進めるシステムづくり／など

問 36 通所サービスについて、どのような希望をお持ちですか。

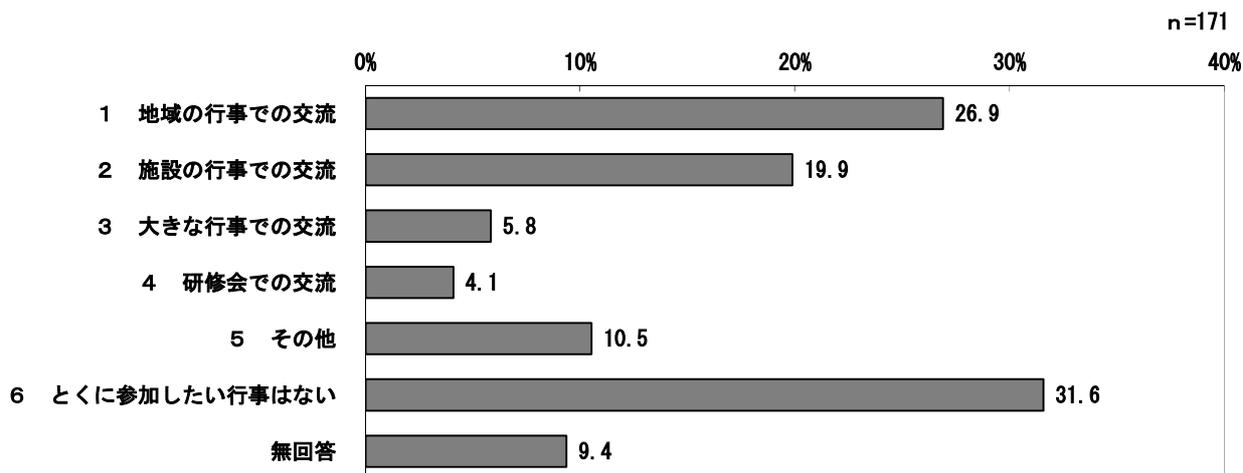
「5 仲間づくりや交流・情報交換などができること」が 50.9%で最も多く、次いで「2 集団への適応や社会復帰のための訓練が受けられること」が 46.2%、「1 自分の身の回りのことができるように訓練が受けられること」が 45.6%、「4 職業に結びつく技術などを身につけられること」が 42.7%、「7 専門的な相談が受けられること」が 40.4%となっています。



●主な「その他」記入:安全に通えること/医療的な処置が可能な施設であること/健康維持のための訓練/スポーツで体づくり/日常生活技能の習得やコミュニケーション技能の習得を養護学校や家庭と連携して進めるシステムづくり/など

問 37 ふれあいまつりが中止になりましたが、みんなと交流するにはどんな行事が良いですか。

「6 とくに参加したい行事はない」が 31.6%で最も多く、次いで「1 地域の行事での交流」が 26.9%、「2 施設の行事での交流」が 19.9%、「5 その他」が 10.5%、「3 大きな行事での交流」が 5.8%となっています。

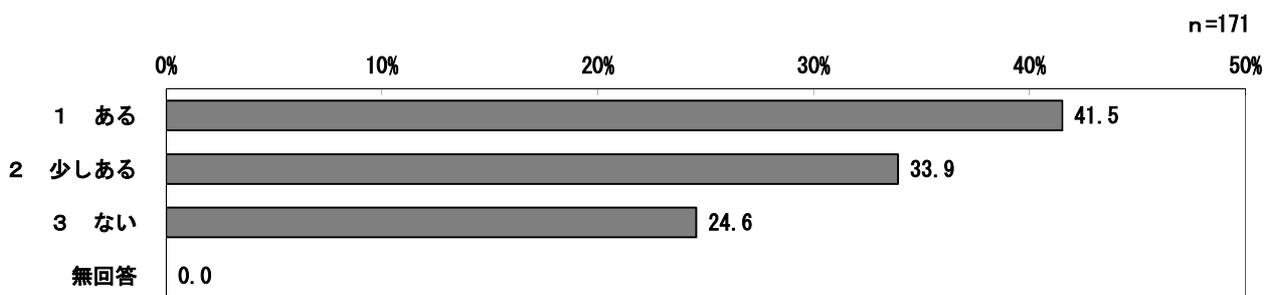


●主な「その他」記入：駐車場やオムツ替え(大人の)に困らず、興味を持てる行事／たくさんの場所に連れて行きたいけど自信がない。発達障害などあっても良いのか…とにかく参加できるなら色々行ってみたい／ふれあいまつりの話を聞いていないし／ふれあい祭りを復活してほしい／どんな場でも、交流を深めていきたい。“人”が大好きな娘なので／など

## ～ 権利擁護について ～

問 38 あなたは、お子さんに障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

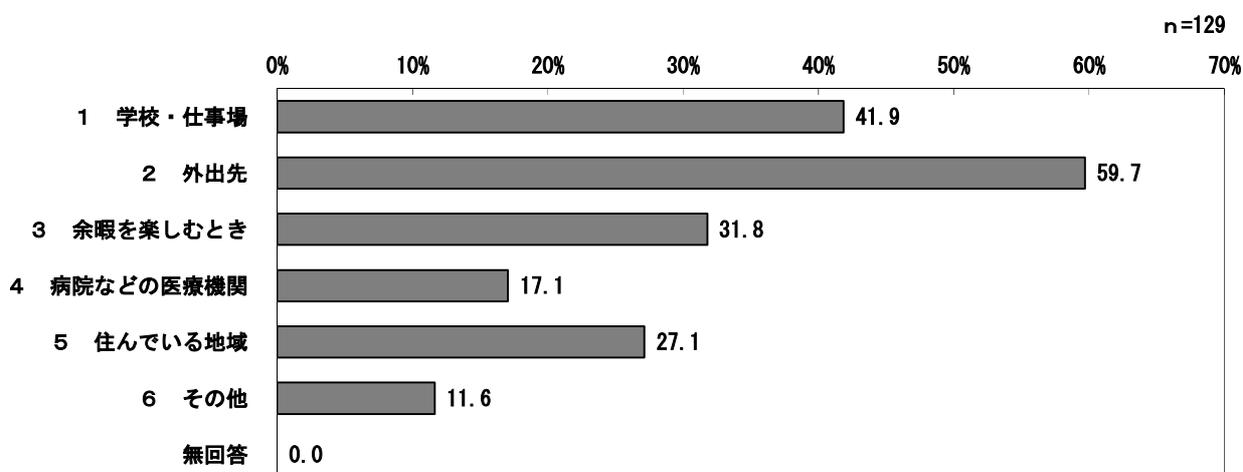
「1 ある」が41.5%で最も多く、次いで「2 少しある」が33.9%、「3 ない」が24.6%となっています。



(問 38 で 1 または 2 を選んだ方に)

問 38-1 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。

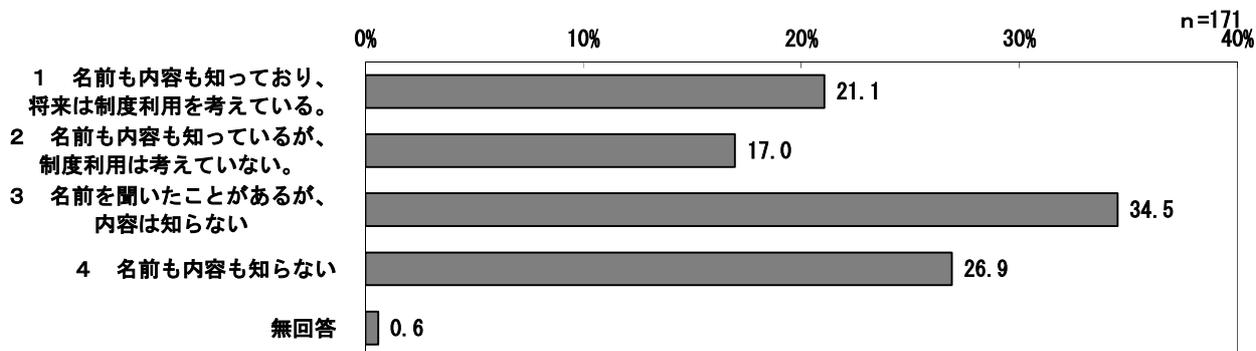
「2 外出先」が59.7%で最も多く、次いで「1 学校・仕事場」が41.9%、「3 余暇を楽しむとき」が31.8%、「5 住んでいる地域」が27.1%、「4 病院などの医療機関」が17.1%となっています。



●主な「その他」記入:人のいる所では、どこでもあります／幼稚園でからかわれたり、1人ぼっちになったことがあります／出生時、親せきなどから／幼稚園での電話対応／など

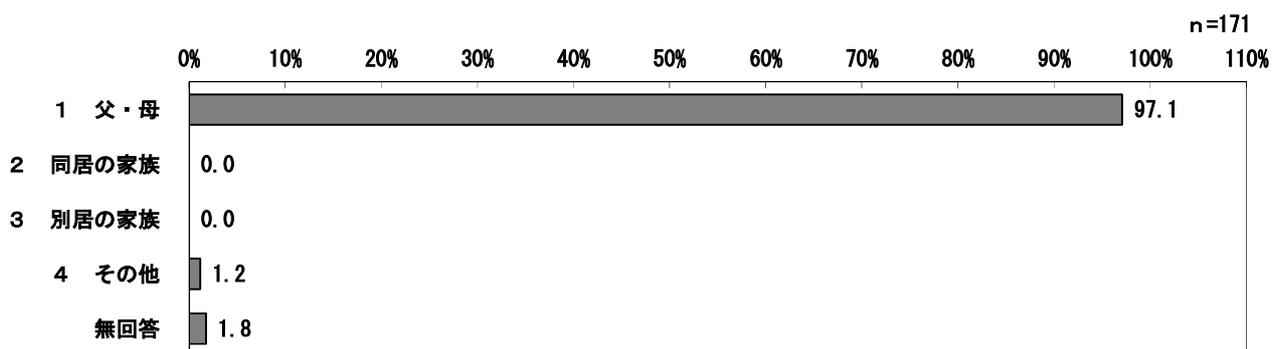
問 39 成年後見制度についてご存じですか。

「3 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 34.5%で最も多く、次いで「4 名前も内容も知らない」が 26.9%、「1 名前も内容も知っており、将来は制度利用を考えている。」が 21.1%、「2 名前も内容も知っているが、制度利用は考えていない。」が 17.0%となっています。



問 40 この調査票の記入者はどなたですか。

「1 父・母」が 97.1%で最も多く、次いで「4 その他」が 1.2%となっています。



●主な「その他」記入:施設職員

## 長野市アンケート調査報告書

発行年月：平成 27 年 9 月

発 行：長野市

編 集：長野市役所 障害福祉課 企画管理担当

住 所：

電 話：026-224-5030